

第3回 新型コロナウイルス感染症の影響下における 生活意識・行動の変化に関する調査

(項目一覧)

- | | |
|-----------|--------|
| 1. 働き方 | 3. 地方 |
| 2. 子育て・結婚 | 4. その他 |

令和3年6月4日

内閣府

政策統括官（経済社会システム担当）

目次（主な調査項目）

- 調査方法：インターネット調査
- 回収数：10,128（うち第2回調査の回答者数：7,371）
- 調査期間：4月30日（金）～5月11日（火）

☆：今回調査での新規調査項目

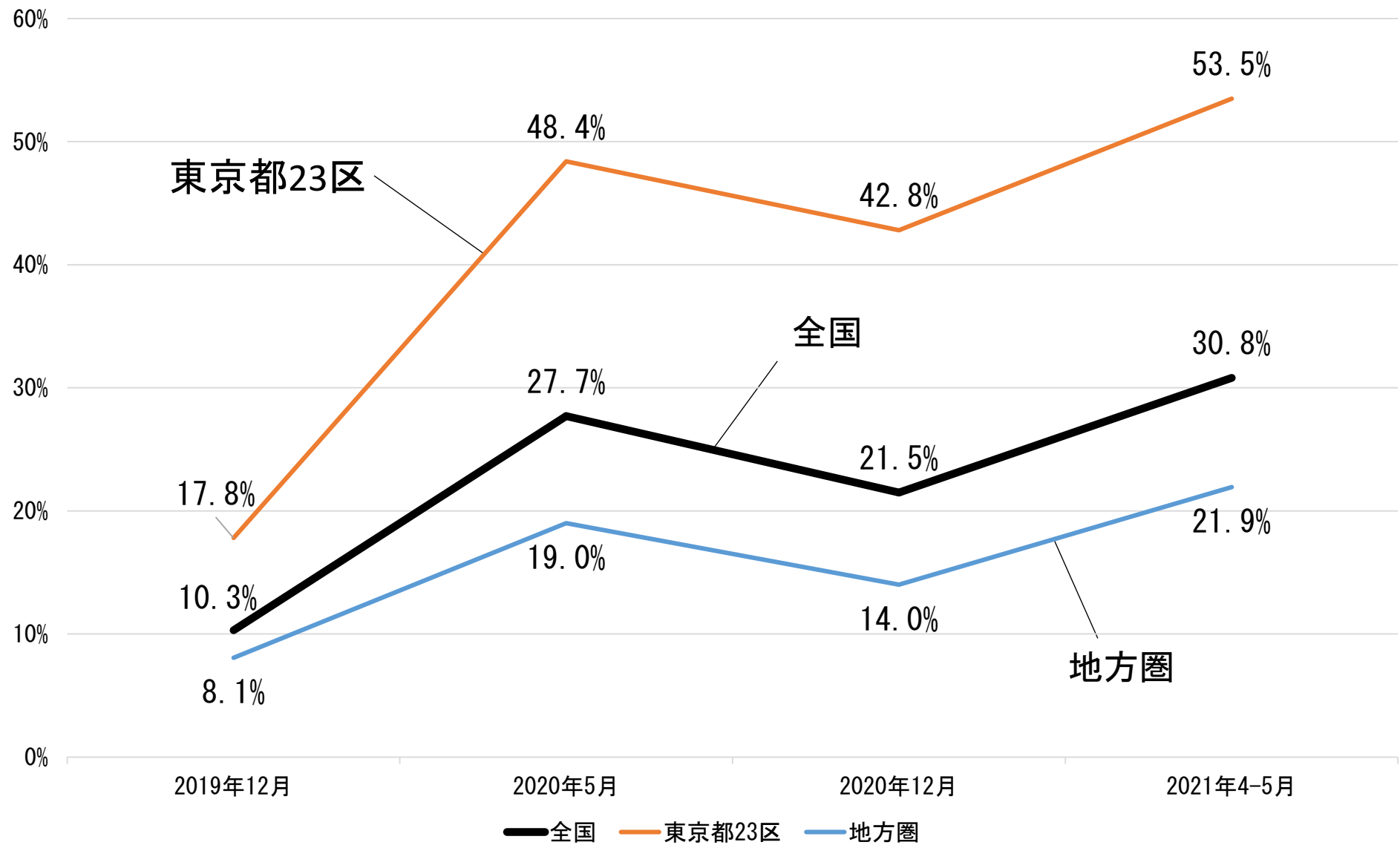
1. 働き方（就業者等）	
地域別のテレワーク実施率	p. 4
テレワーク実施頻度の変化	p. 5
業種別のテレワーク実施率	p. 6
テレワークのデメリット	p. 7
テレワークの実施希望	p. 8
テレワーク経験による意識変化	p. 9
通勤時間の変化	p. 10
生産性、労働時間の変化	p. 11
ワーク・ライフ・バランスの意識変化	p. 12
就業選択・希望の変化	p. 13
☆就職・転職する企業を選ぶ際に重視する点	p. 14
☆正規・非正規の待遇格差の有無	p. 15
☆非正規職員の正規化の希望	p. 16
☆非正規である理由／正規化希望	p. 17
☆リカレント教育の実施	p. 18
☆リカレント教育に取り組む理由	p. 19
☆リカレント教育の障害	p. 20
☆求職者支援訓練、高等職業訓練促進給付金	p. 21

2. 子育て・結婚（子育て世帯・未婚者等）	
家族と過ごす時間	p. 23
家事・育児時間の変化	p. 24
家事・育児の役割分担の変化	p. 25
役割分担の変化と夫婦関係の変化	p. 26
子どものオンライン教育	p. 27
☆デジタル端末の活用	p. 28
☆男性の育休取得希望	p. 29
☆男性の育休取得に対する抵抗感	p. 30
☆出産前後の就業状況の変化	p. 31
結婚への関心の変化	p. 32
☆結婚希望・出会い	p. 33
☆結婚していない理由	p. 34
3. 地方	
地方移住への関心	p. 36
地方移住への関心理由	p. 37
地方移住に向けた行動	p. 38
地方移住にあたっての懸念	p. 39
☆「転職なき移住」への関心	p. 40
☆二地域居住や多拠点居住への関心	p. 41

4. その他	
学習意欲の変化	p. 43
学習時間の変化	p. 44
将来の進路希望の変化	p. 45
☆GWの過ごし方	p. 46
☆コロナ疲れ	p. 47
☆自身のコロナ対策のきっかけとして重視する情報等	p. 48
☆コロナ対策で重視する情報媒体	p. 49
新たな挑戦・取組	p. 50
不安の増加	p. 51-52
社会の変化等	p. 53
生活全体の満足度	p. 54
調査方法・調査対象等	p. 55

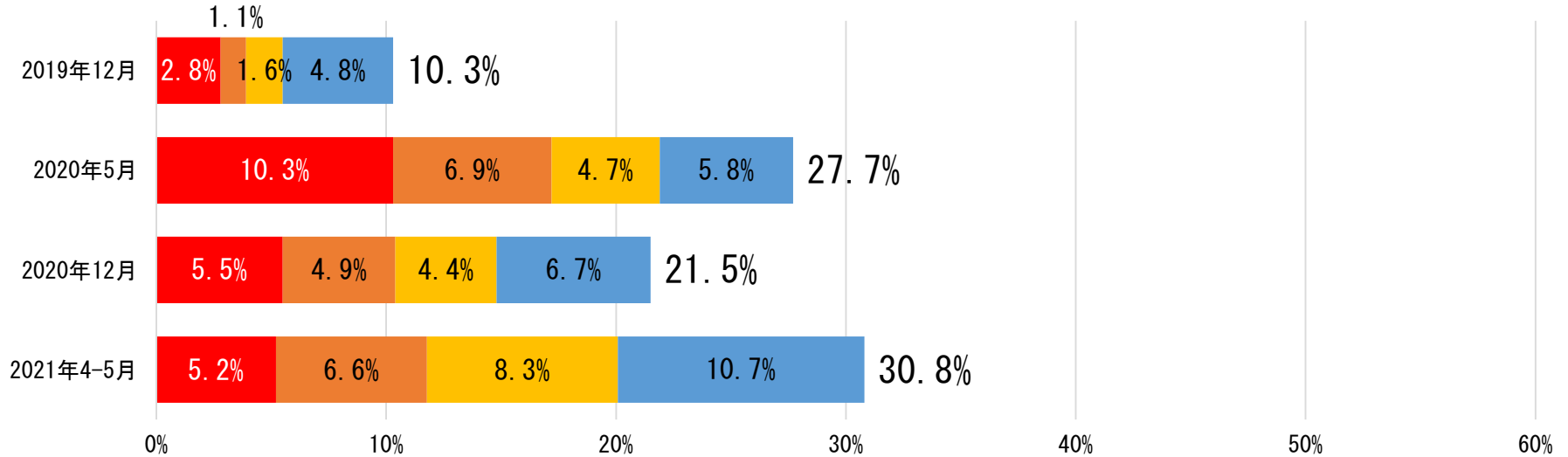
1. 働き方

1. 【働き方】地域別のテレワーク実施率（就業者）

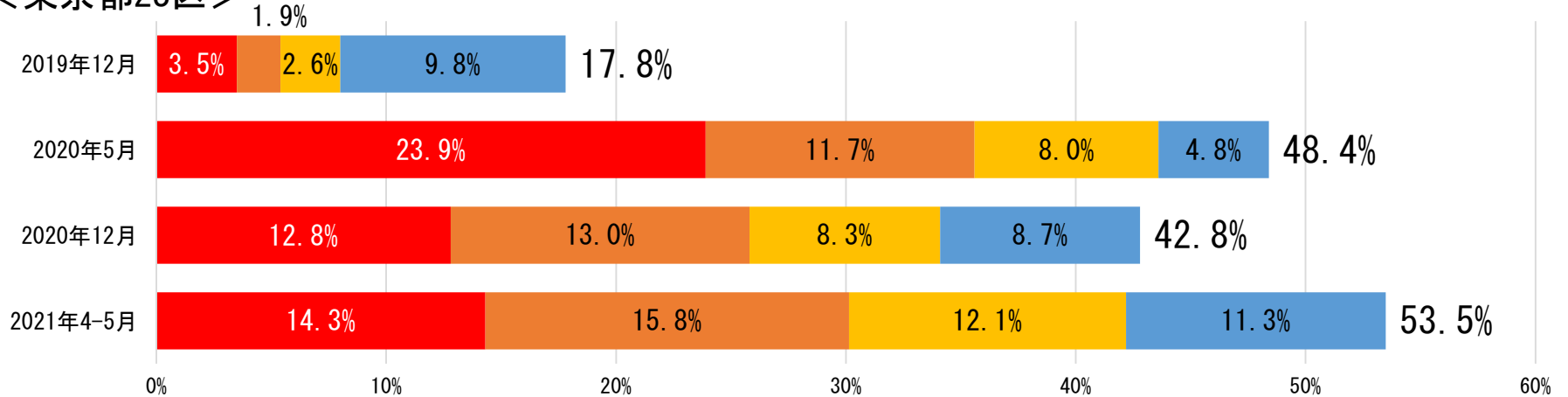


1. 【働き方】テレワーク実施頻度の変化（就業者）

<全国>

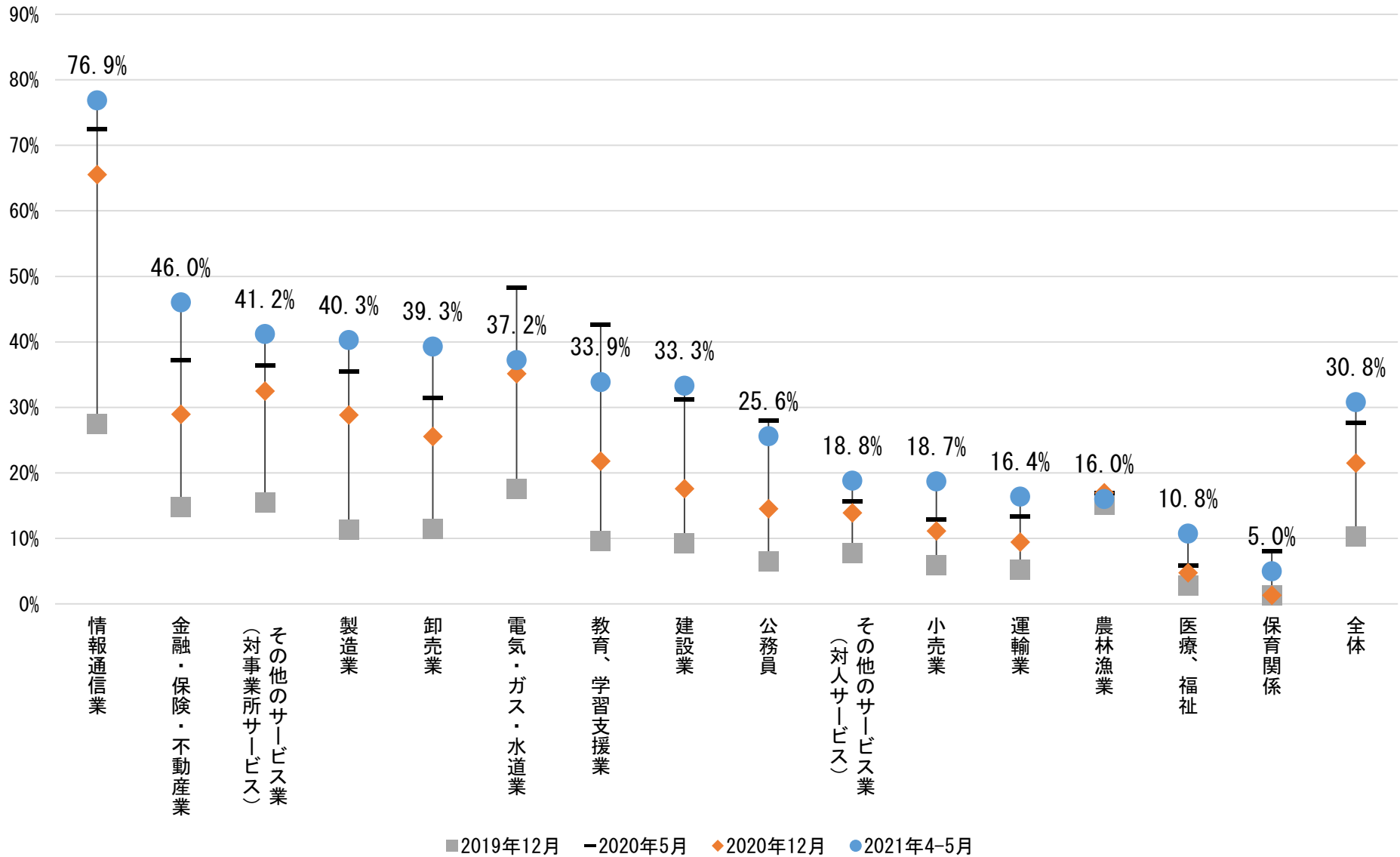


<東京都23区>

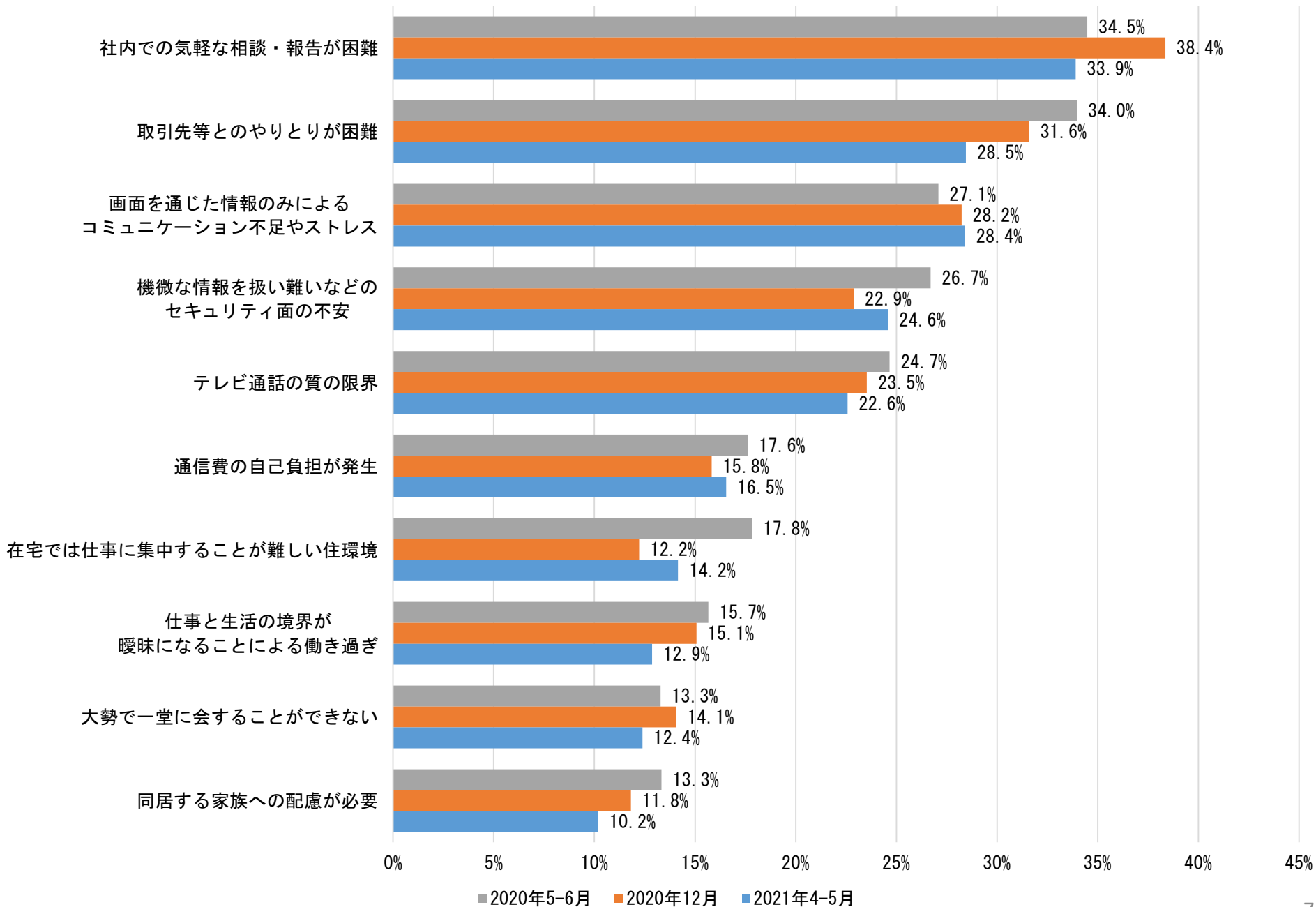


- テレワーク（ほぼ100%）
- テレワーク中心（50%以上）で、定期的に出勤を併用
- 出勤中心（50%以上）で、定期的なテレワークを併用
- 基本的に出勤だが、不定期にテレワークを利用

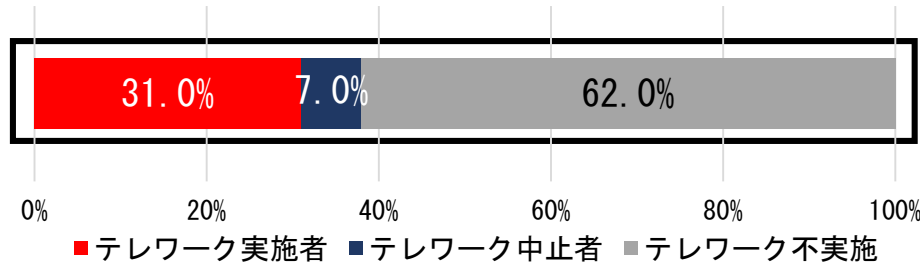
1. 【働き方】業種別のテレワーク実施率（就業者）



1. 【働き方】テレワークのデメリット（テレワーク経験者）

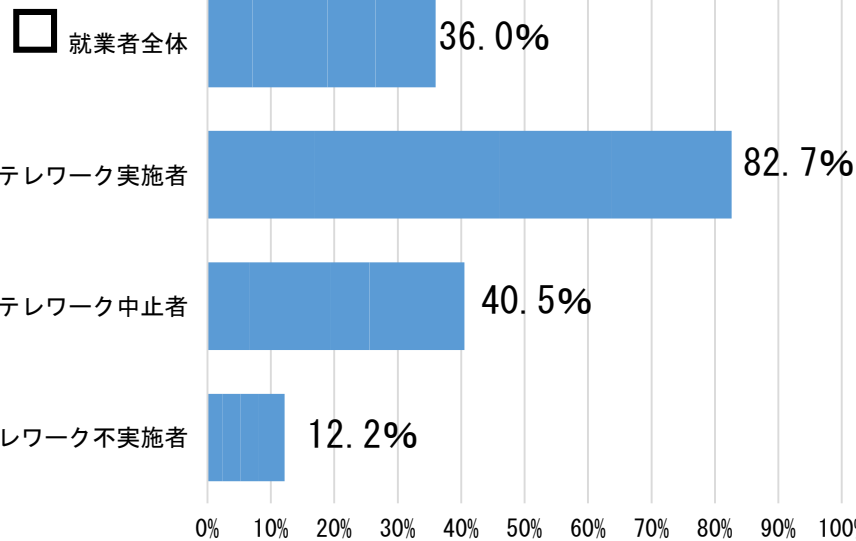


2021年4-5月のテレワーク実施状況



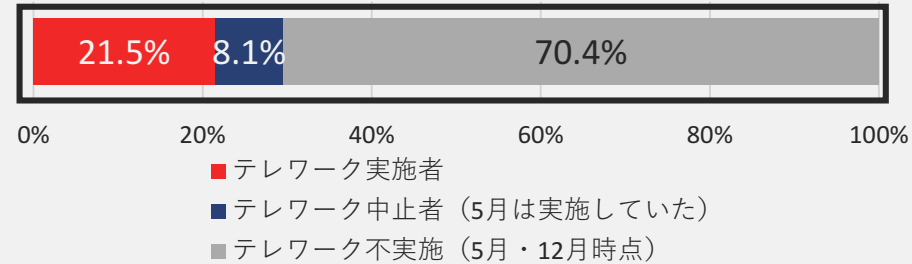
2021年4-5月の テレワーク実施状況

今後のテレワーク希望割合



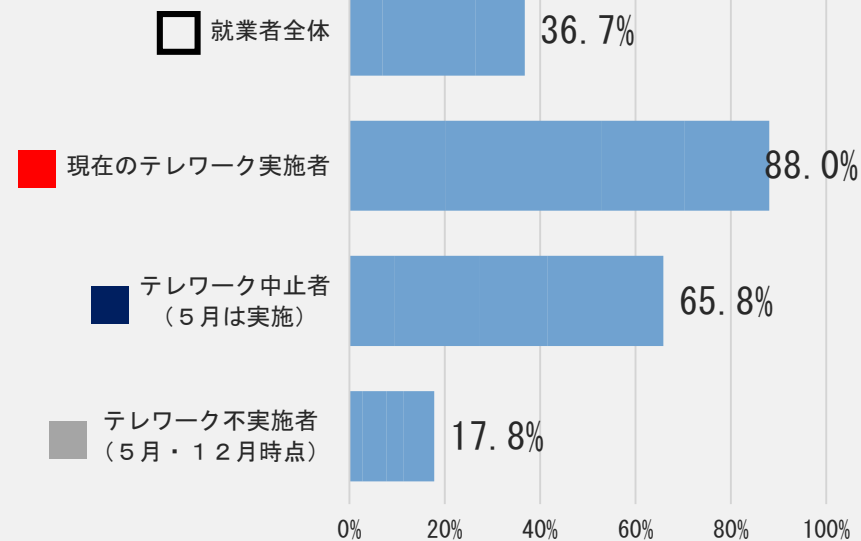
参考：第2回調査結果

2020年12月のテレワーク実施状況



2020年12月の テレワーク実施状況別

今後のテレワーク希望割合



※「テレワーク中止者」は2020年5月はテレワークを実施していたが2021年4-5月は実施していない者
「テレワーク不実施者」は2020年5月・2021年4-5月ともにテレワークを実施していない者

1. 【働き方】テレワーク経験による意識変化

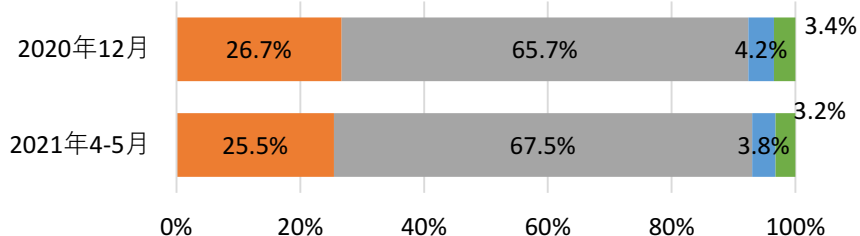
【パネル分析(継続回答者の分析)】

※ 第2回調査・第3回調査の継続回答者（就業者）のうち、第2回調査で「テレワーク経験が無い」と回答していた回答者（3201人）を抽出して集計

ワークライフバランスの意識

(第3回調査時点でも)

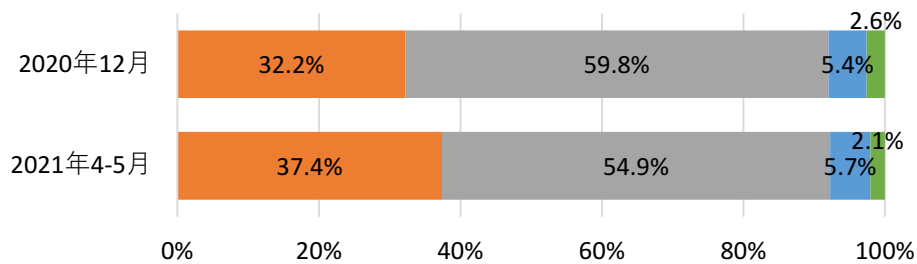
＜テレワーク実施していない就業者の意識＞



■ 感染症拡大前よりも、生活を重視するように変化 ■ 変化はない ■ 感染症拡大前よりも、仕事を重視するように変化 ■ わからない

(第3回調査時点で)

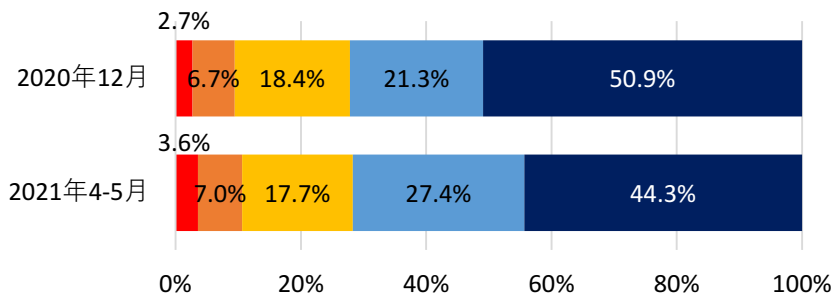
＜テレワークを（新たに）実施した就業者の意識＞



地方移住への関心（東京圏在住者）

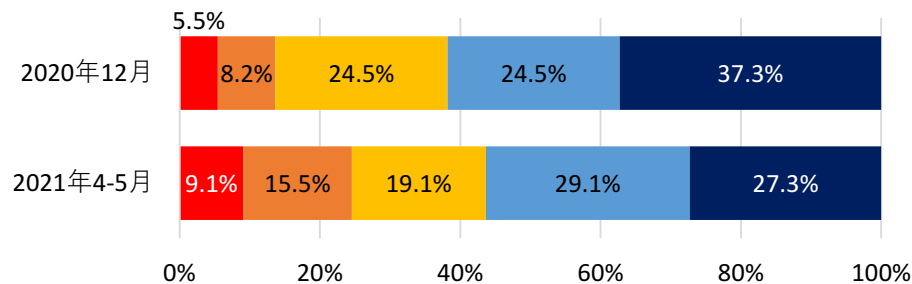
(第3回調査時点でも)

＜テレワーク実施していない就業者の意識＞



(第3回調査時点で)

＜テレワークを（新たに）実施した就業者の意識＞

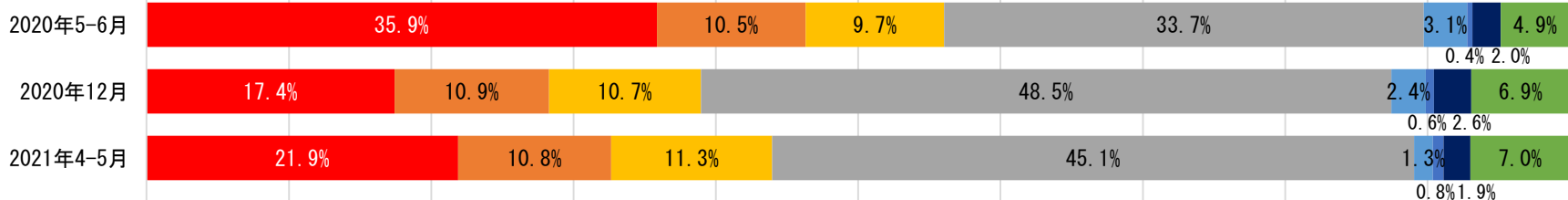


■ 強い関心がある ■ 関心がある ■ やや関心がある ■ あまり関心がない ■ 全く関心がない

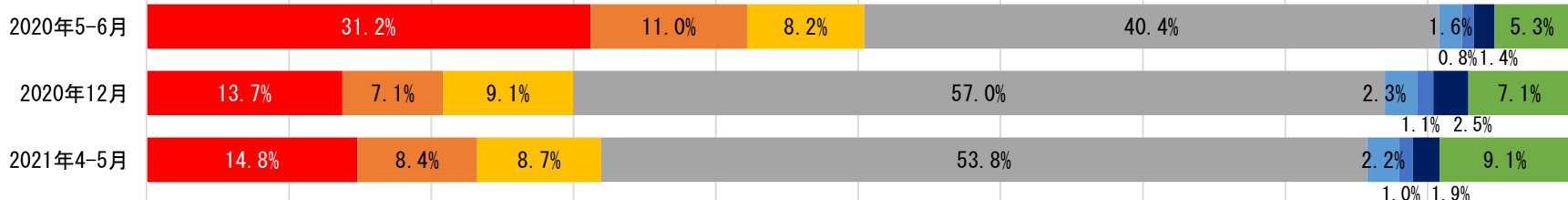
1. 【働き方】通勤時間の変化（就業者）

※2019年12月（感染症拡大前）からの変化を質問

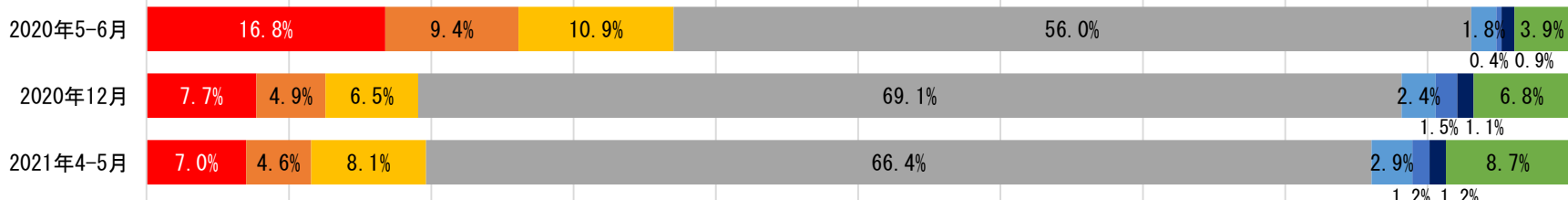
<東京都23区>



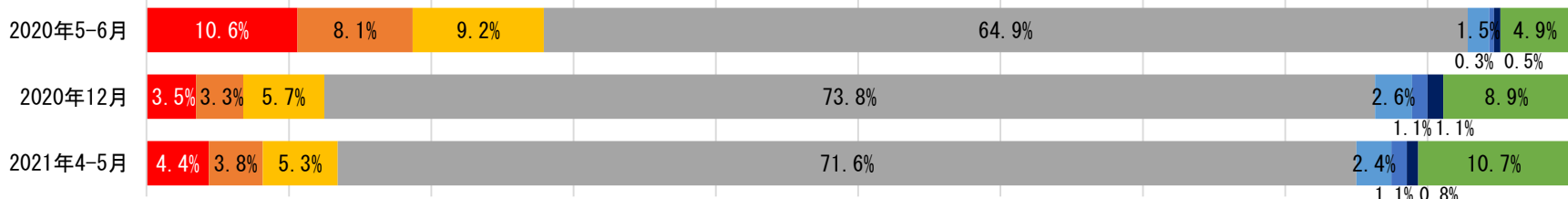
<東京圏>



<大阪・名古屋圏>



<地方圏>

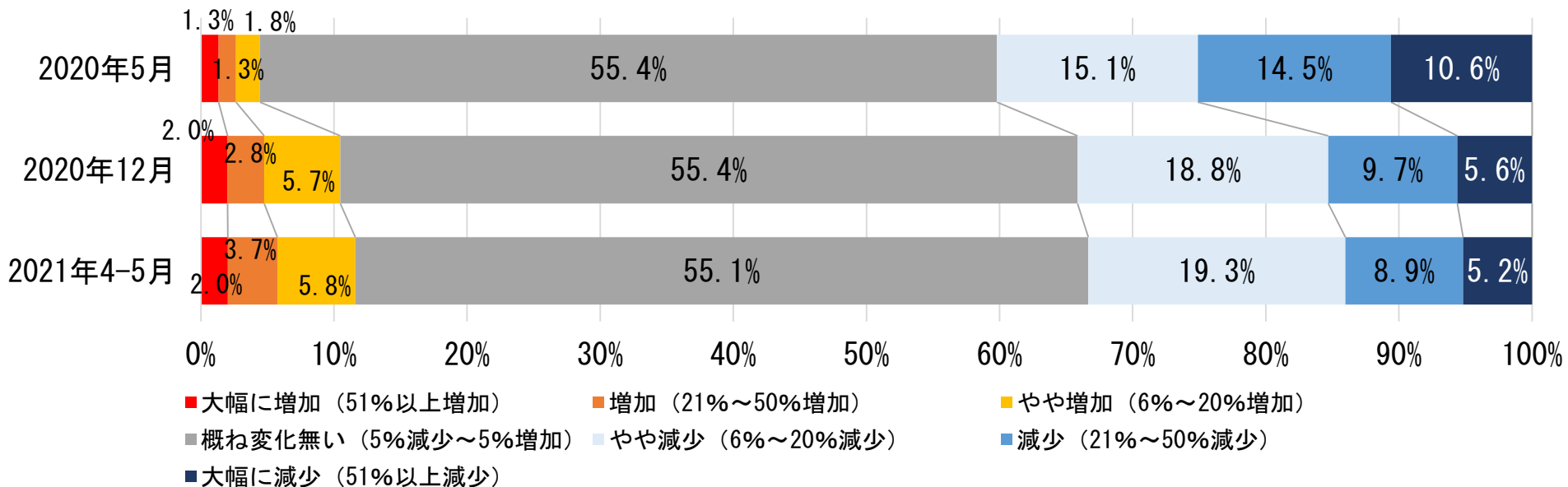


■ 大幅に減少 (51%以上減少)
 ■ 減少 (21%~50%減少)
 ■ やや減少 (6%~20%減少)
 ■ 概ね変化無い (5%減少~5%増加)
 ■ やや増加 (6%~20%増加)
 ■ 増加 (21%~50%増加)
 ■ 大幅に増加 (51%以上増加)
 ■ わからない

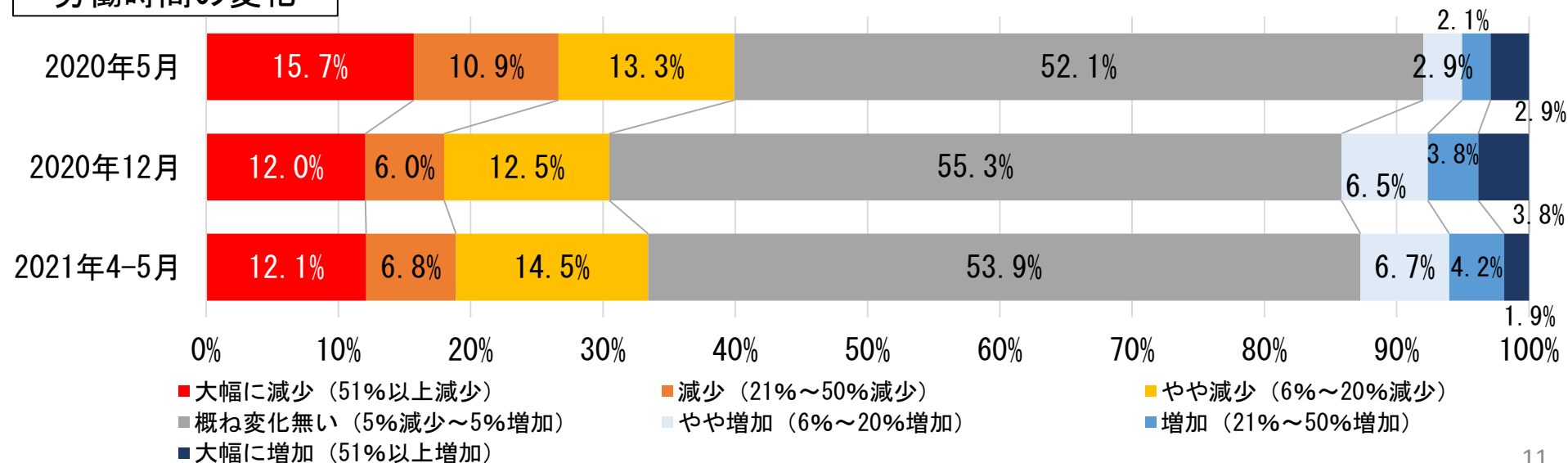
1. 【働き方】生産性、労働時間の変化（就業者）

※2019年12月（感染症拡大前）からの変化を質問

生産性の変化



労働時間の変化



1. 【働き方】ワーク・ライフ・バランスの意識変化（就業者）

※2019年12月（感染症拡大前）からの変化を質問

<全体>



<20歳代>



<30歳代>



<40歳代>



<50歳代>



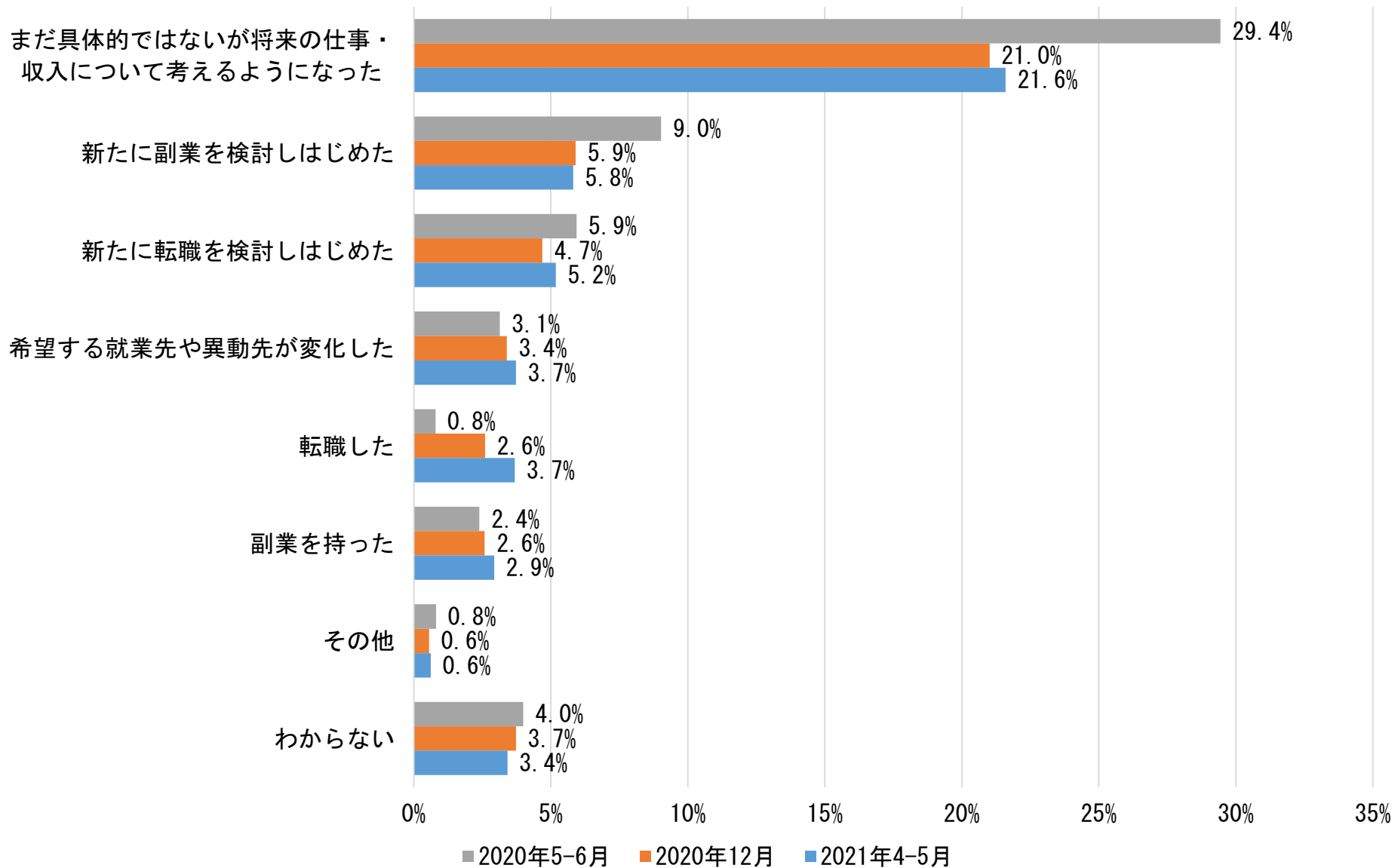
<60歳代以上>



■ 感染症拡大前よりも、生活を重視するように変化 ■ 変化はない ■ 感染症拡大前よりも、仕事を重視するように変化 ■ わからない

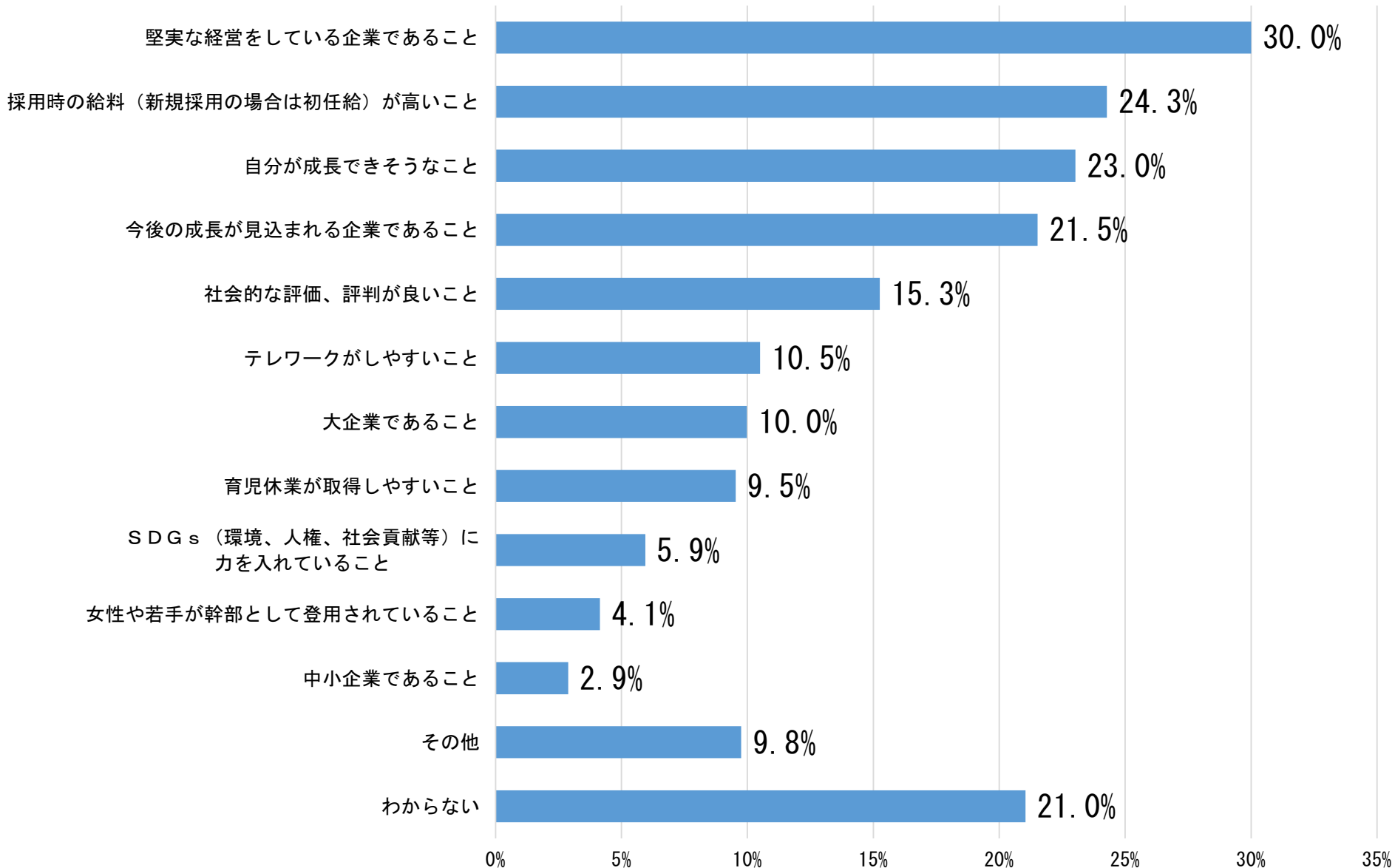
1. 【働き方】職業選択・希望の変化（就業者）

※2019年12月（感染症拡大前）からの変化を質問



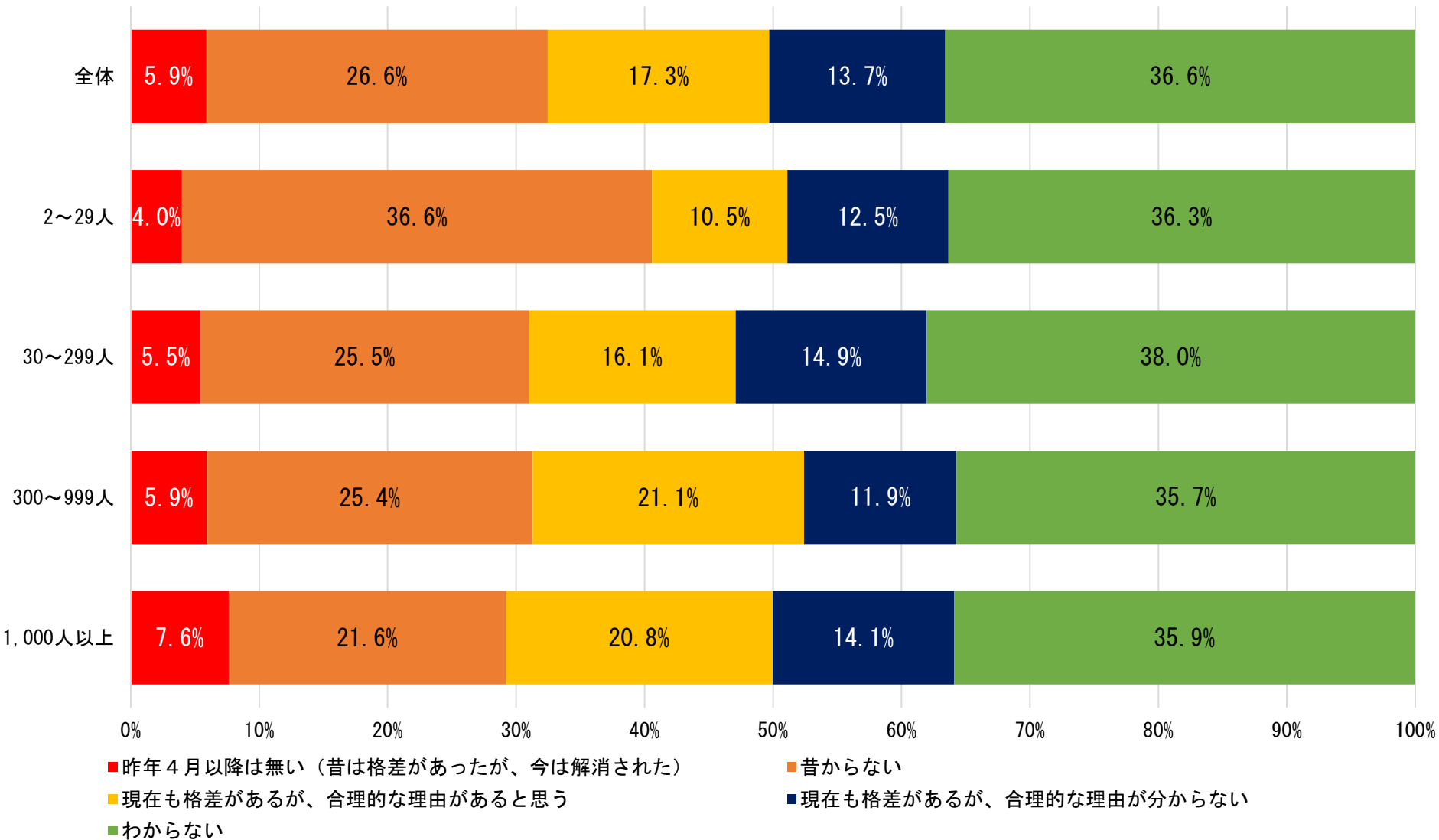
※「変化していない」と回答した人の割合は第1回57.3%、第2回64.8%、第3回63.3%

1. 【働き方】 就職・転職する企業を選ぶ際に重視する点 (全員)

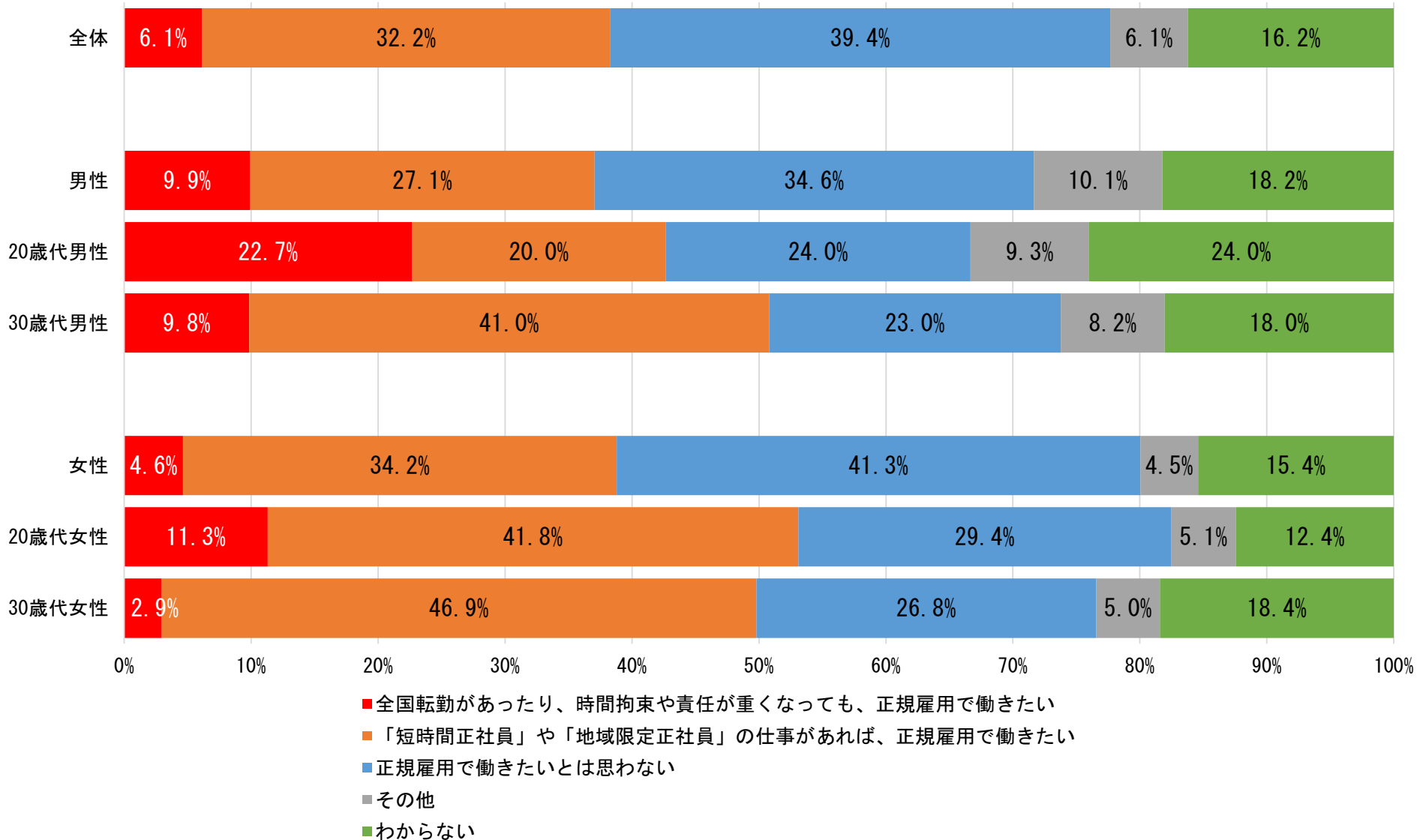


1. 【働き方】 正規・非正規の待遇格差の有無 (雇用者)

<企業規模別>

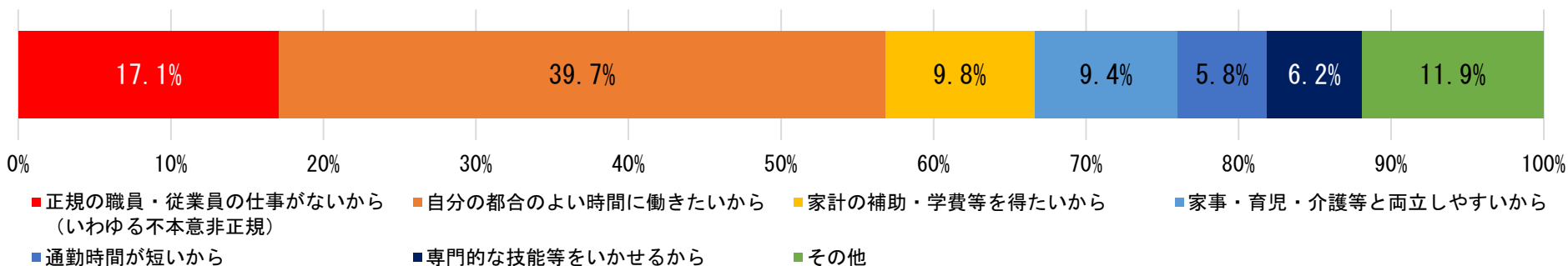


1. 【働き方】非正規職員の正規化の希望 (非正規雇用者)

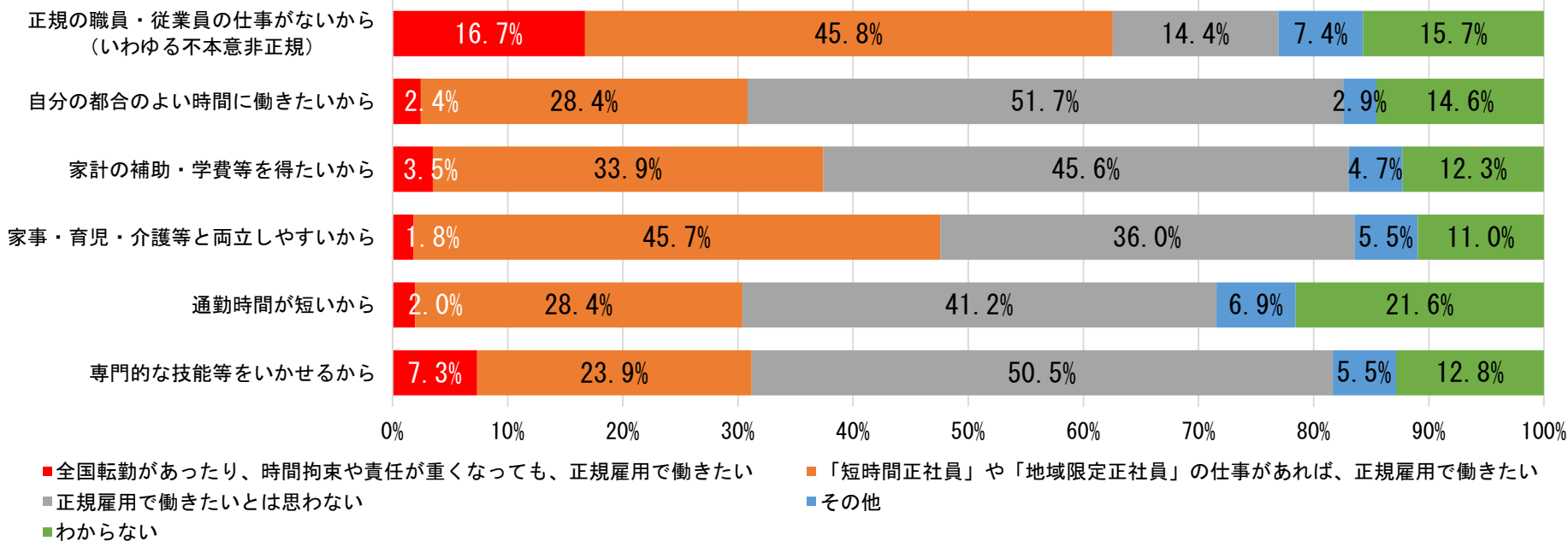


1. 【働き方】非正規である理由／正規化希望（非正規雇用者）

非正規で働く主な理由

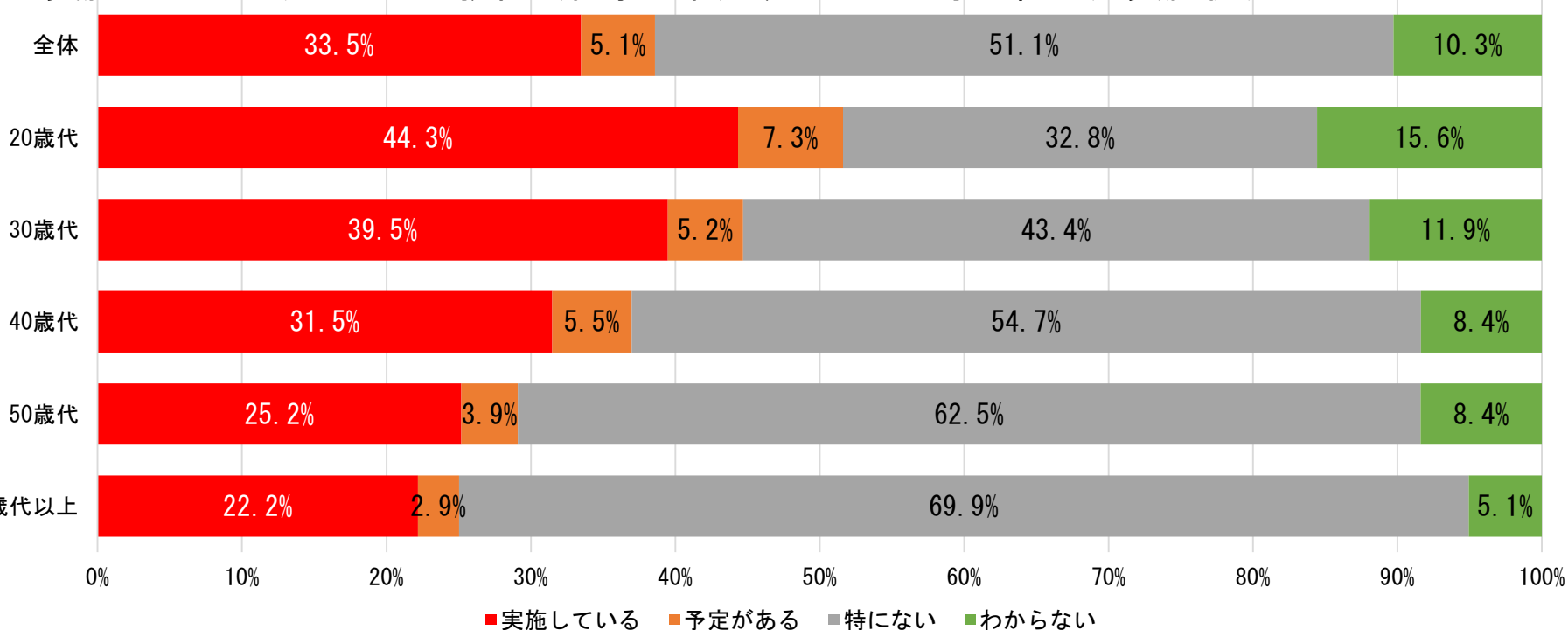


正規化の希望（非正規雇用で働く主な理由別）



1. 【働き方】リカレント教育の実施（就業者）

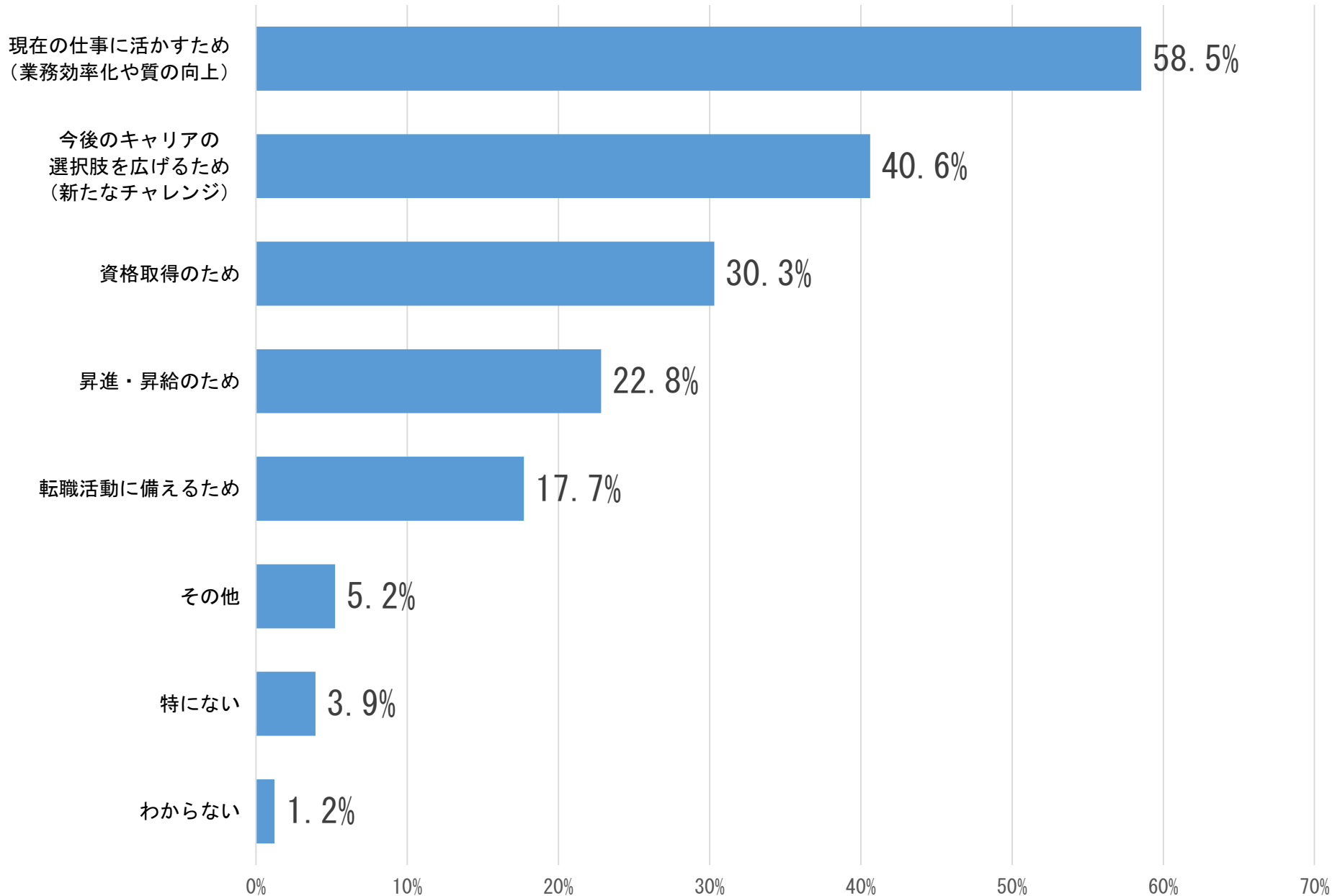
<実施しているリカレント教育（仕事に活用するための学び直し）実施状況>



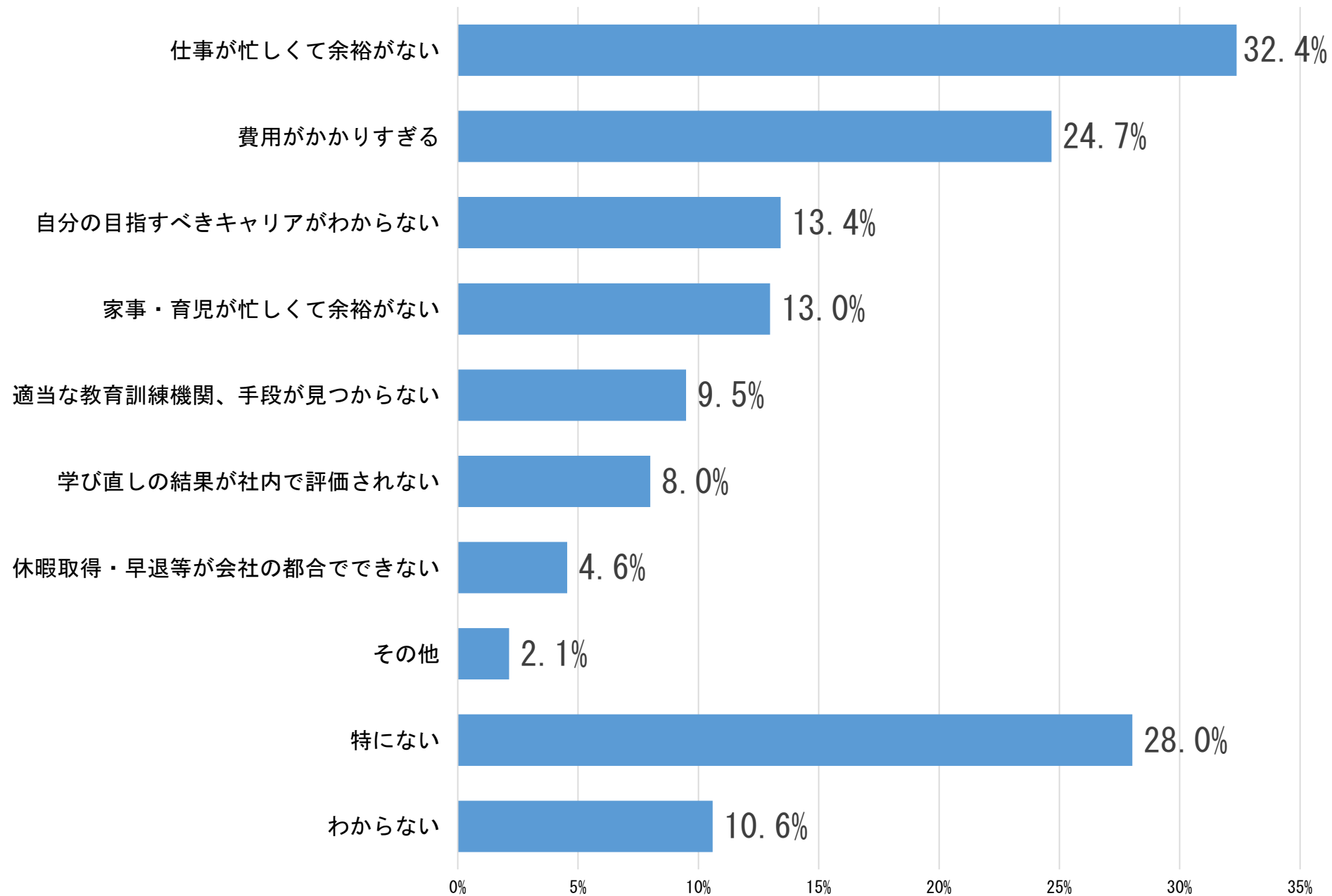
<実施しているリカレント教育の内容（複数回答）>

	専門的な資格の取得	経営・ビジネスに必要な知識や能力の向上	英語などの語学力の向上	マネジメント力の向上	プログラミングなどのIT関連スキルの取得	リベラルアーツ（一般教養）の学習	学位の取得
全体	18.8%	9.7%	8.5%	5.6%	5.1%	4.5%	1.8%
20歳代	26.8%	10.8%	10.5%	5.7%	7.3%	6.4%	2.8%
30歳代	22.9%	10.6%	9.6%	7.0%	7.1%	5.3%	2.0%
40歳代	17.3%	10.4%	9.1%	6.7%	4.8%	4.6%	1.9%
50歳代	13.2%	7.7%	7.1%	4.1%	2.9%	1.8%	1.2%
60歳代以上	10.5%	8.0%	4.6%	4.1%	2.1%	4.1%	0.7%

1. 【働き方】リカレント教育に取り組む理由（リカレント教育を実施、又は関心がある者）



1. 【働き方】リカレント教育の障害 (就業者)



1. 【働き方】 求職者支援訓練、高等職業訓練促進給付金（全員）

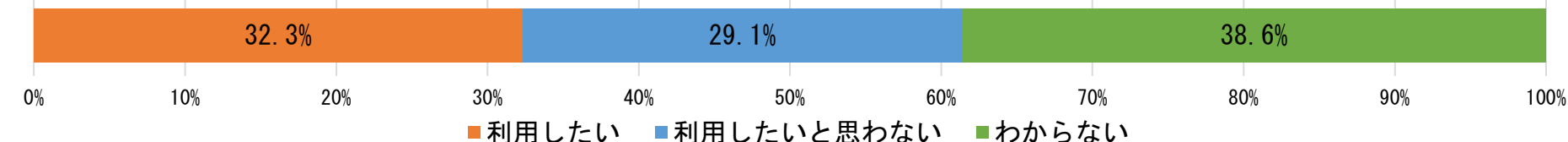
求職者支援訓練

これまで仕事をしていなかった人も2ヶ月～6ヶ月の間、無料で職業訓練を受けることができ、月額10万円の給付を受けられる。

「求職者支援訓練」について、知っていましたか（全員）。



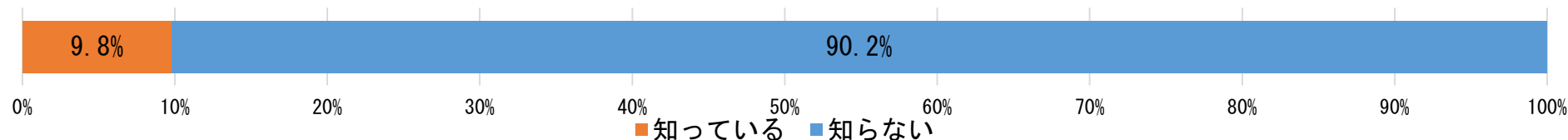
「求職者支援訓練」を利用したいと思いますか（世帯年収及び自身の年収要件等を満たす987人への質問）。



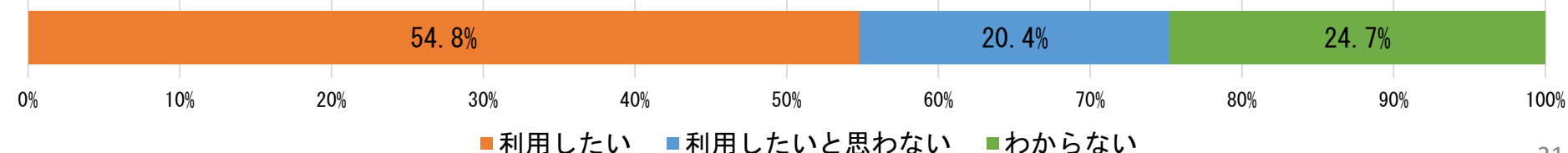
高等職業訓練促進給付金

ひとり親世帯の親は、最長4年間、無料で職業訓練を受けることができ、月額10万円の給付を受けられる。

「高等職業訓練促進給付金」について、知っていましたか（全員）。



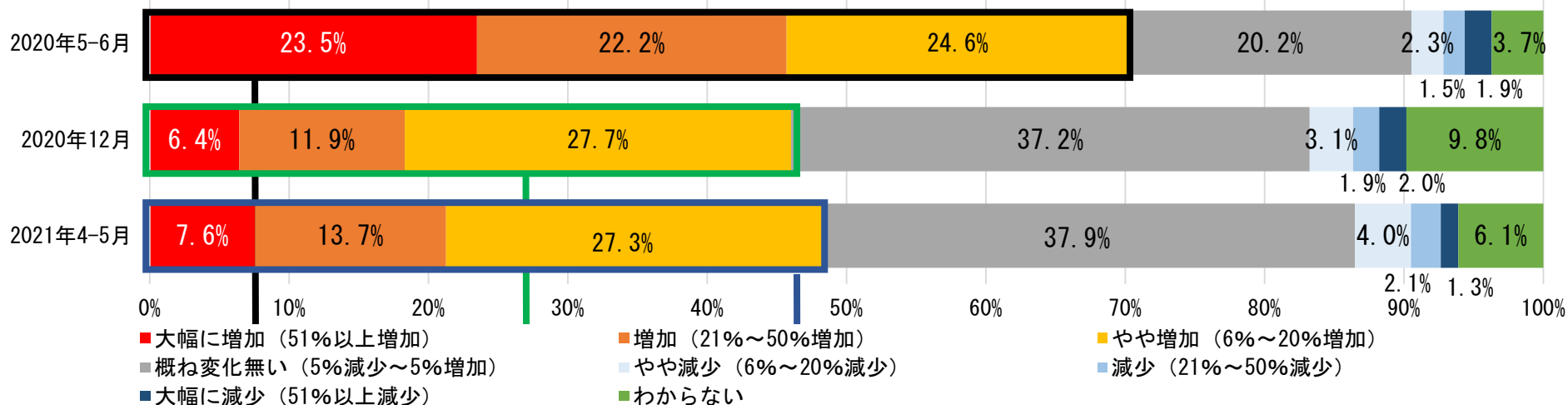
「高等職業訓練促進給付金」を利用したいと思いますか（母子（父子）家庭、年収要件等を満たす93人への質問）。



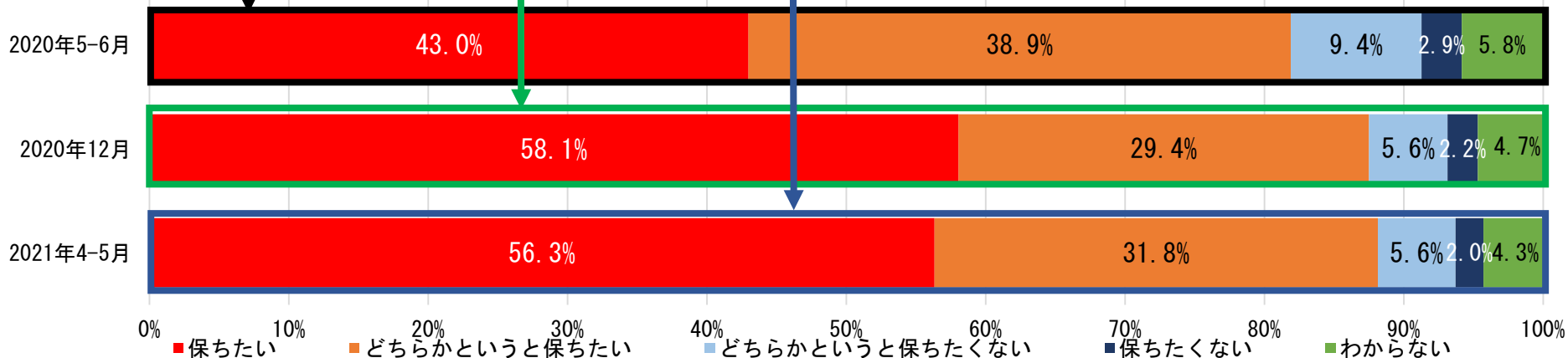
2. 子育て・結婚

2. 【子育て】家族と過ごす時間 (18歳未満の子を持つ親)

家族と過ごす時間の変化【2019年12月（感染症拡大前）と比較】



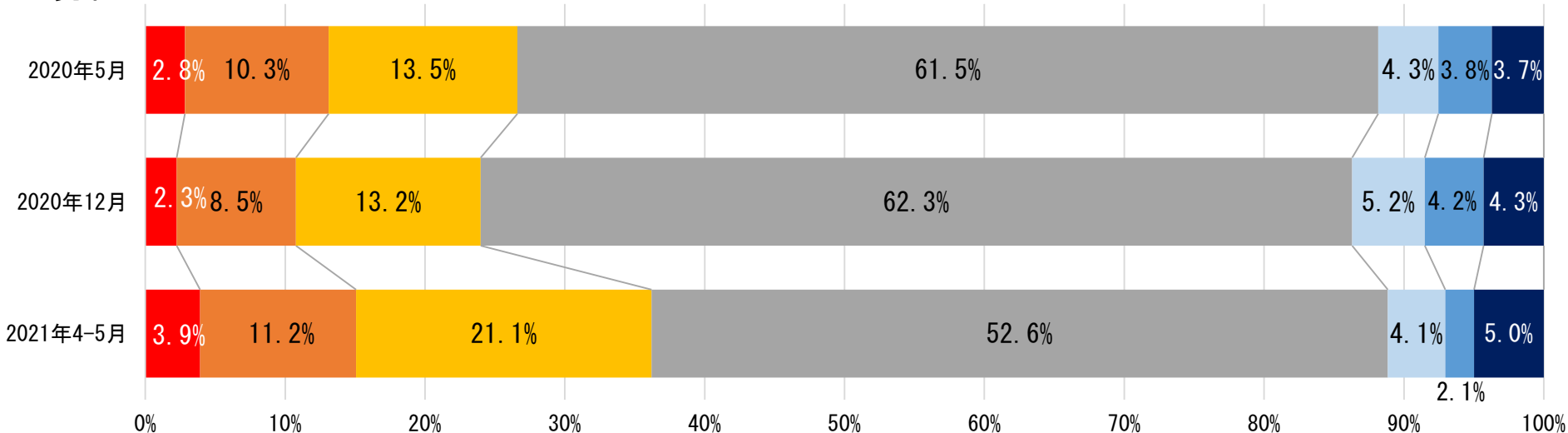
現在の家族と過ごす時間を保ちたいと思うか (家族と過ごす時間が増加した人への質問)



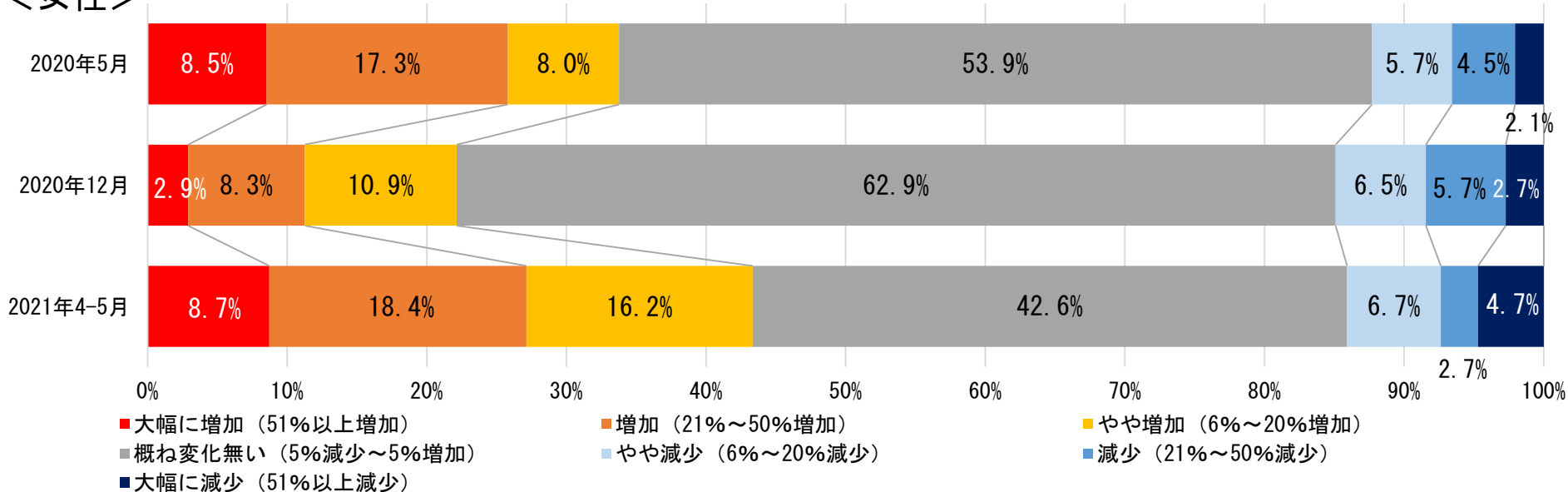
2. 【子育て】家事・育児時間の変化（18歳未満の子を持つ親）

※2019年12月（感染症拡大前）からの変化を質問

<男性>



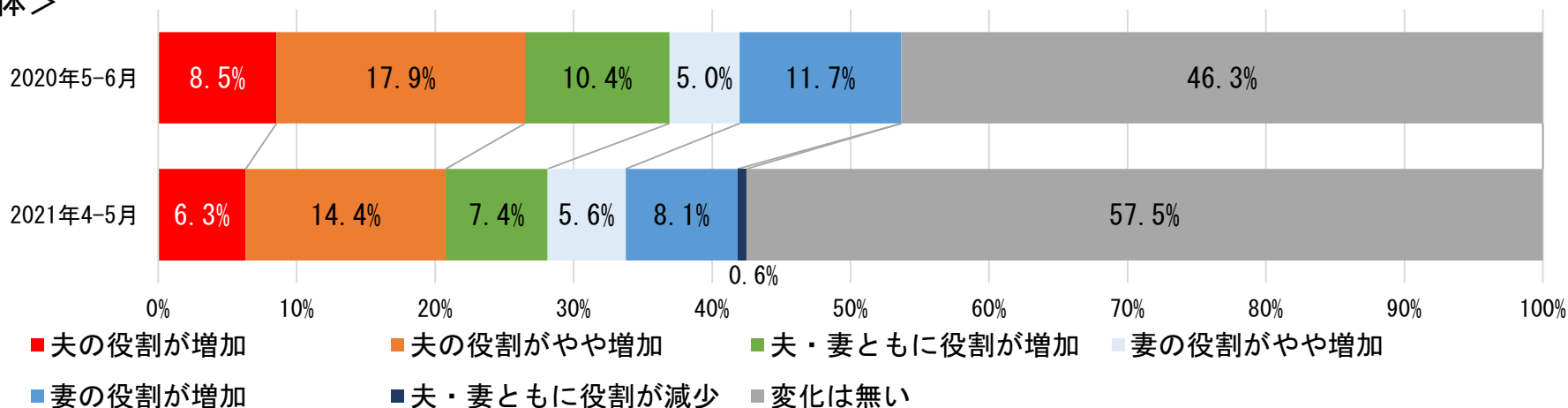
<女性>



2. 【子育て】家事・育児の役割分担の変化（18歳未満の子を持つ親）

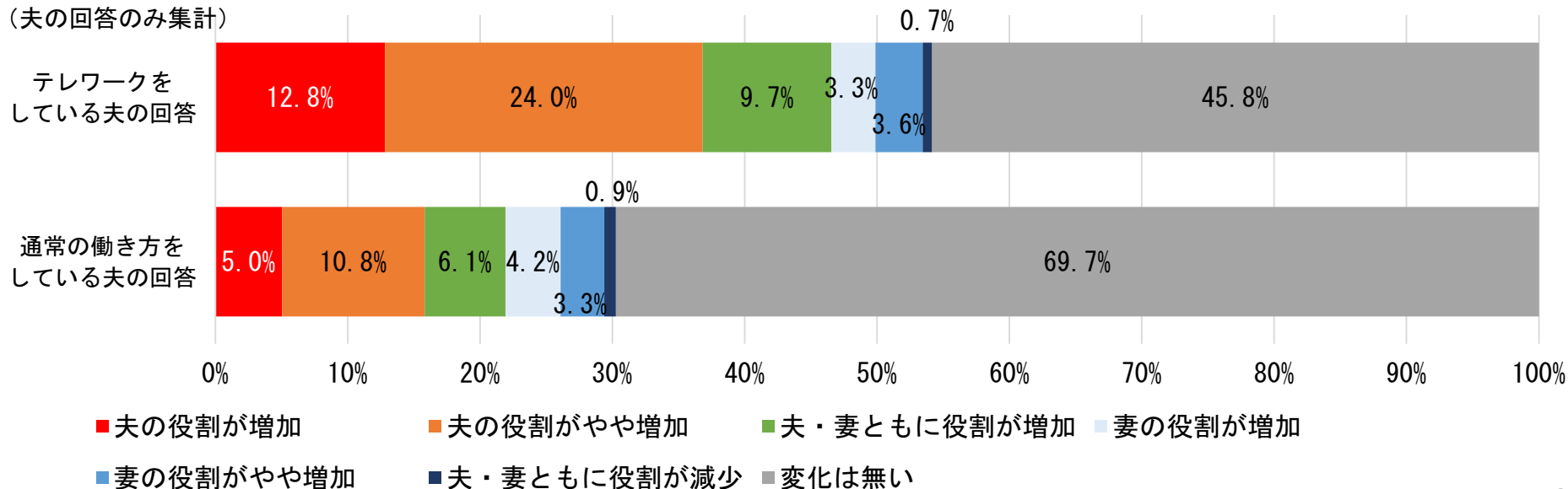
※2019年12月（感染症拡大前）からの変化を質問

<全体>



夫の働き方（テレワーク実施）と家事・育児の役割分担の変化（2021年4-5月）

2021年4-5月の働き方別
（夫の回答のみ集計）

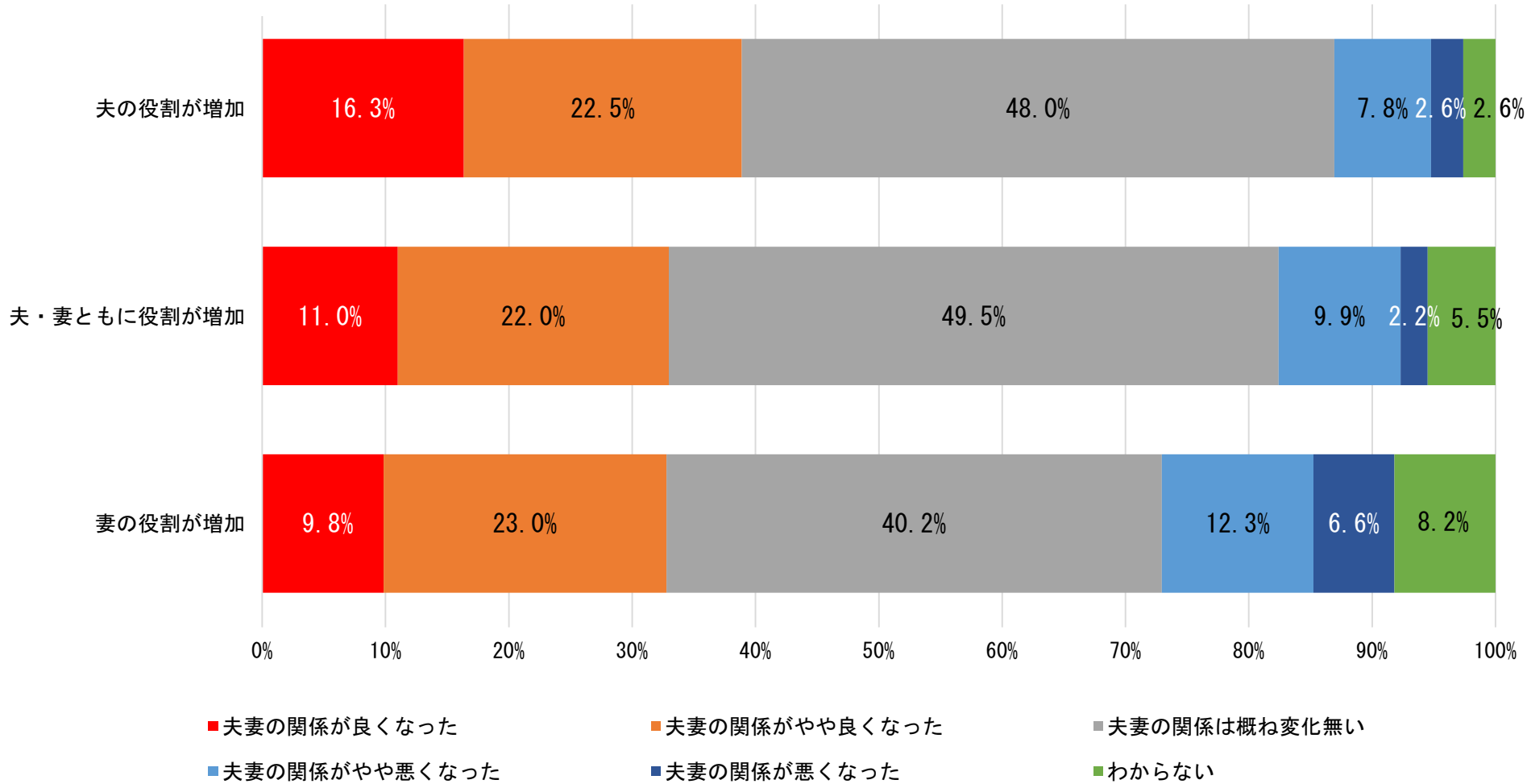


2. 【子育て】家事・育児に関する役割分担の変化と夫婦関係の変化

(夫婦間の役割分担が変化した子育て世帯)

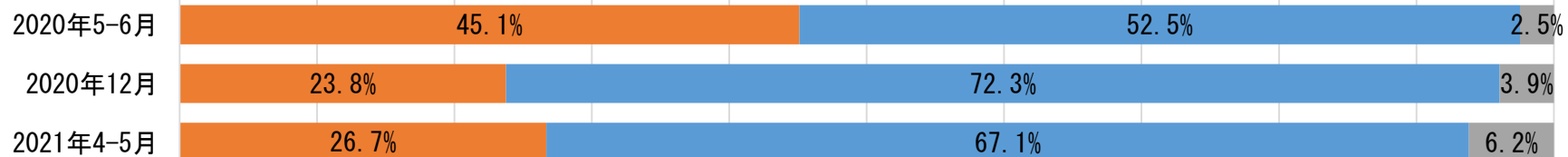
夫婦関係の変化

家事育児の
役割分担の変化別

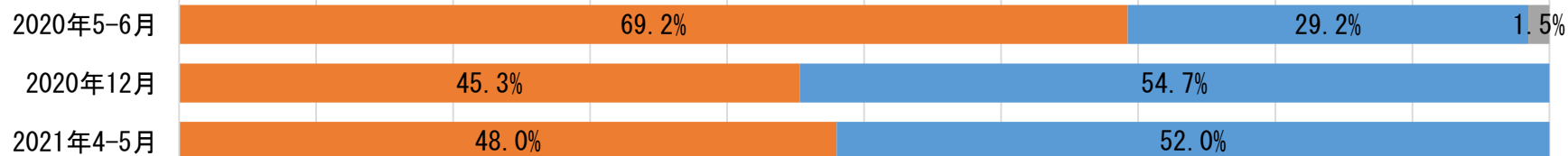


2. 【子育て】子どものオンライン教育（小学生・中学生の子を持つ親）

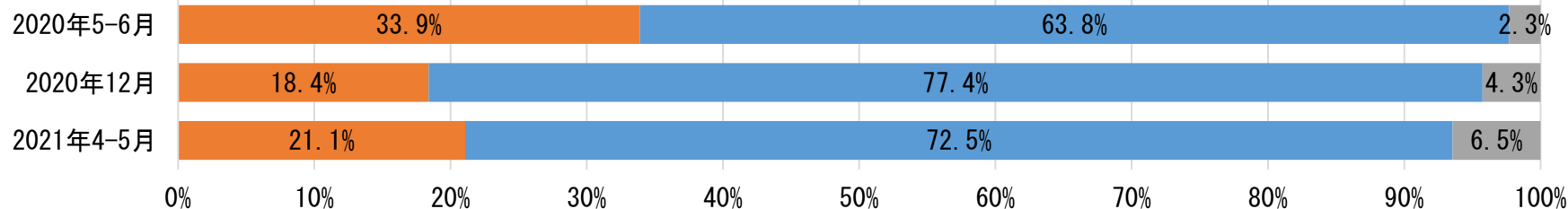
<全国>



<東京都23区>



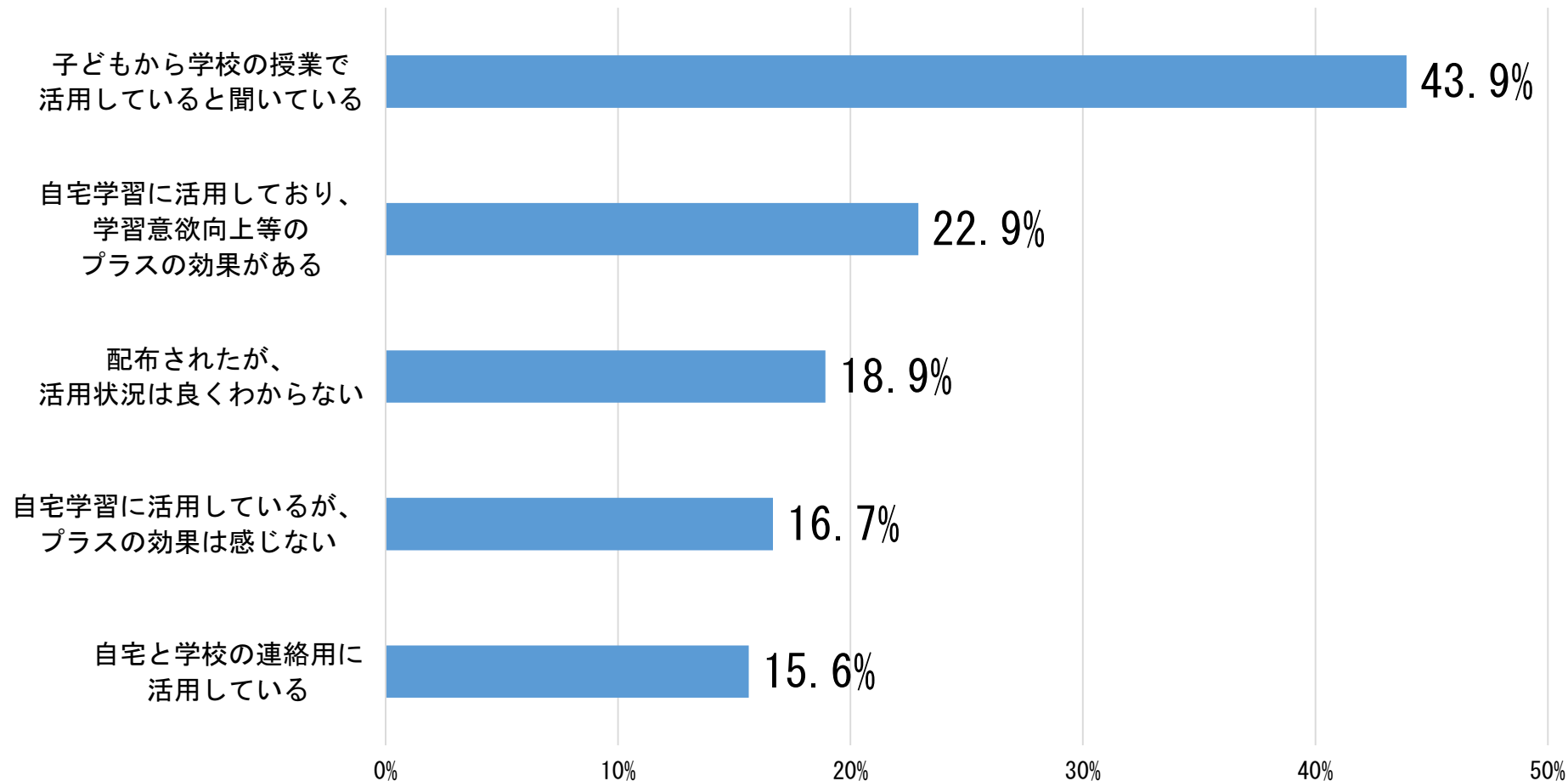
<地方圏>



■ オンライン教育を受けている ■ オンライン教育を受けていない ■ わからない

	①学校の先生からオンライン授業を受けている	②学校の先生からオンライン上の学習指導（メール等）を受けている	③学校から家庭用のオンライン教材の提供を受けている	④学校以外の塾や習い事でオンライン授業を受けている	⑤学校以外の塾や習い事でオンライン上の学習指導（メール等）を受けている	⑥学校以外の塾や習い事でオンライン教材の提供を受けている	⑦その他のオンライン教育を受けている	⑧オンライン教育を受けていない	⑨わからない
2020年5-6月	10.2%	11.1%	15.2%	17.1%	6.4%	9.9%	5.4%	52.5%	2.5%
2020年12月	4.6%	4.5%	5.5%	9.3%	4.6%	5.1%	2.7%	72.3%	3.9%
2021年4-5月	5.2%	5.7%	9.9%	7.4%	3.6%	6.9%	2.4%	67.1%	6.2%

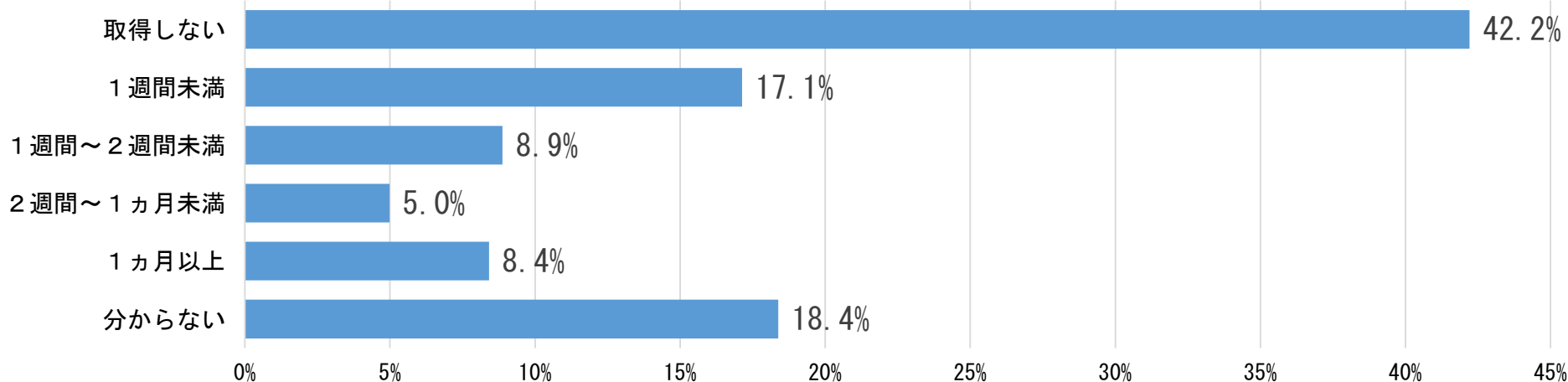
2. 【子育て】子どものデジタル端末の活用（1人1台端末を配布された子どもの親）



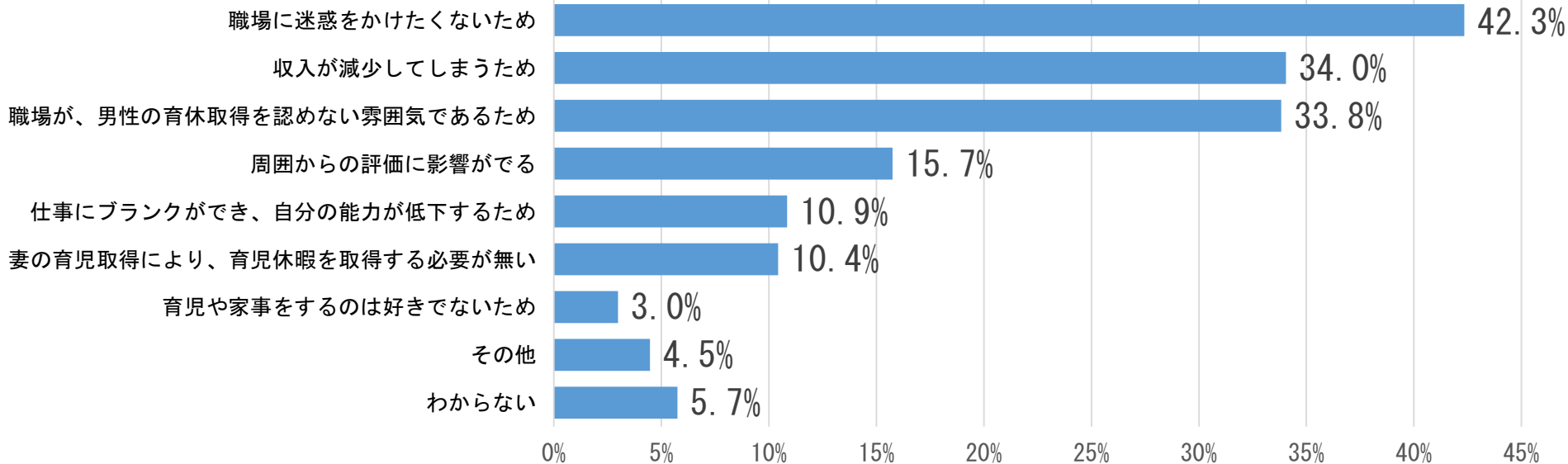
	子どもから学校の授業で活用していると聞いている	自宅学習に活用しており、学習意欲向上等のプラスの効果がある	配布されたが、活用状況は良くわからない	自宅学習に活用しているが、プラスの効果は感じない	自宅と学校の連絡用に活用している
小学生	43.9%	22.0%	21.1%	14.7%	10.7%
中学生	46.5%	20.4%	17.6%	17.6%	16.9%
高校生	39.8%	30.7%	12.5%	22.7%	33.0%

2. 【子育て】男性の育休取得希望（既婚者（20歳代・30歳代）男性）

育休取得希望状況

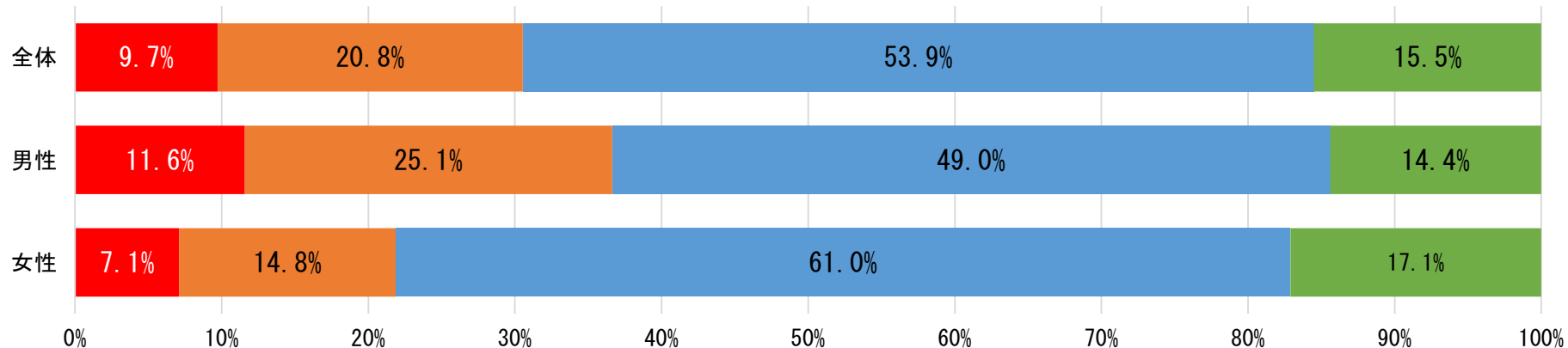


1ヵ月以上の育児休暇を取得しない理由

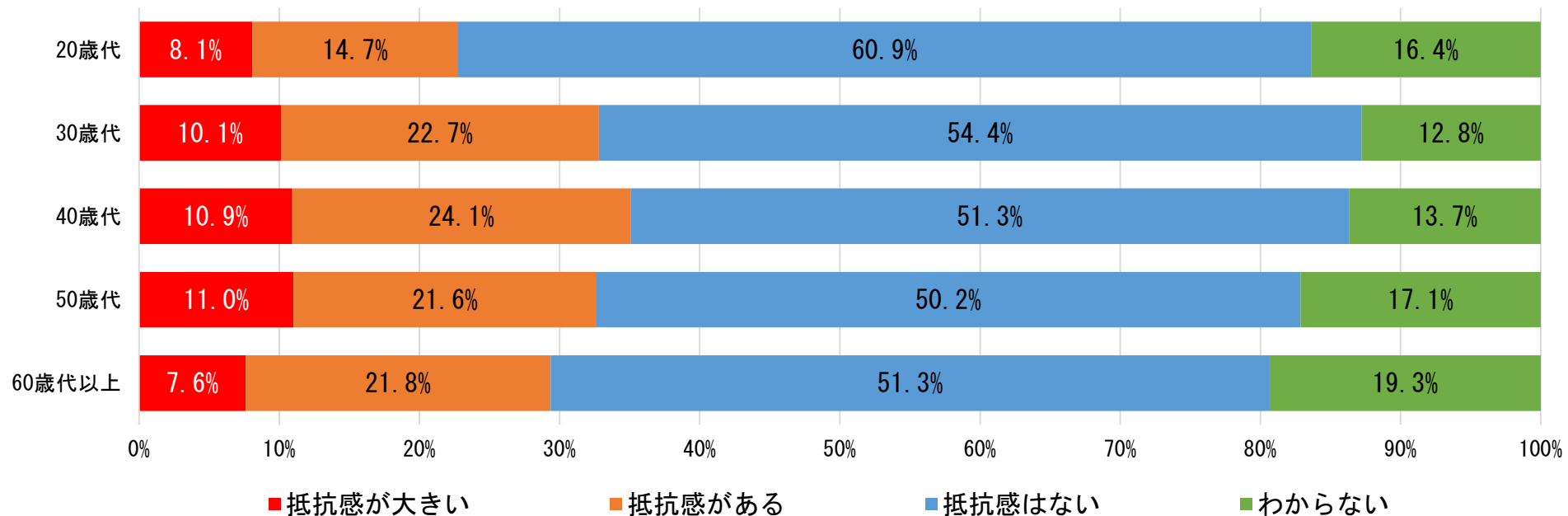


2. 【子育て】同僚の男性が育休取得することへの抵抗感（雇用者）

<男女別>

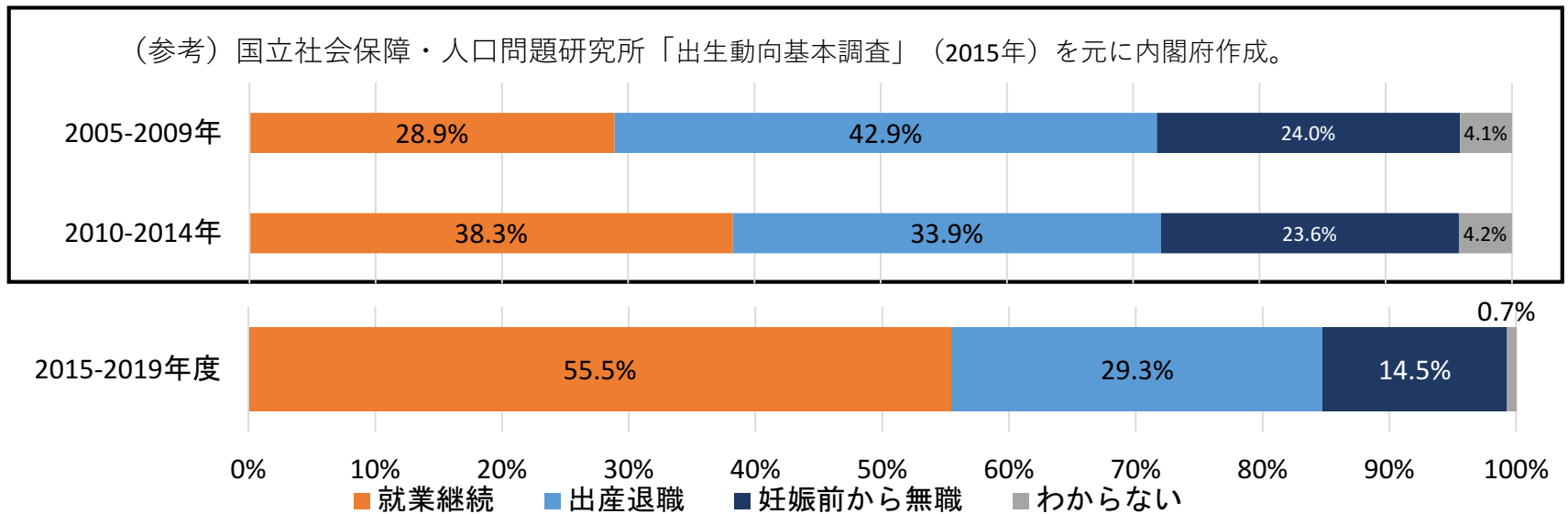


<年代別>

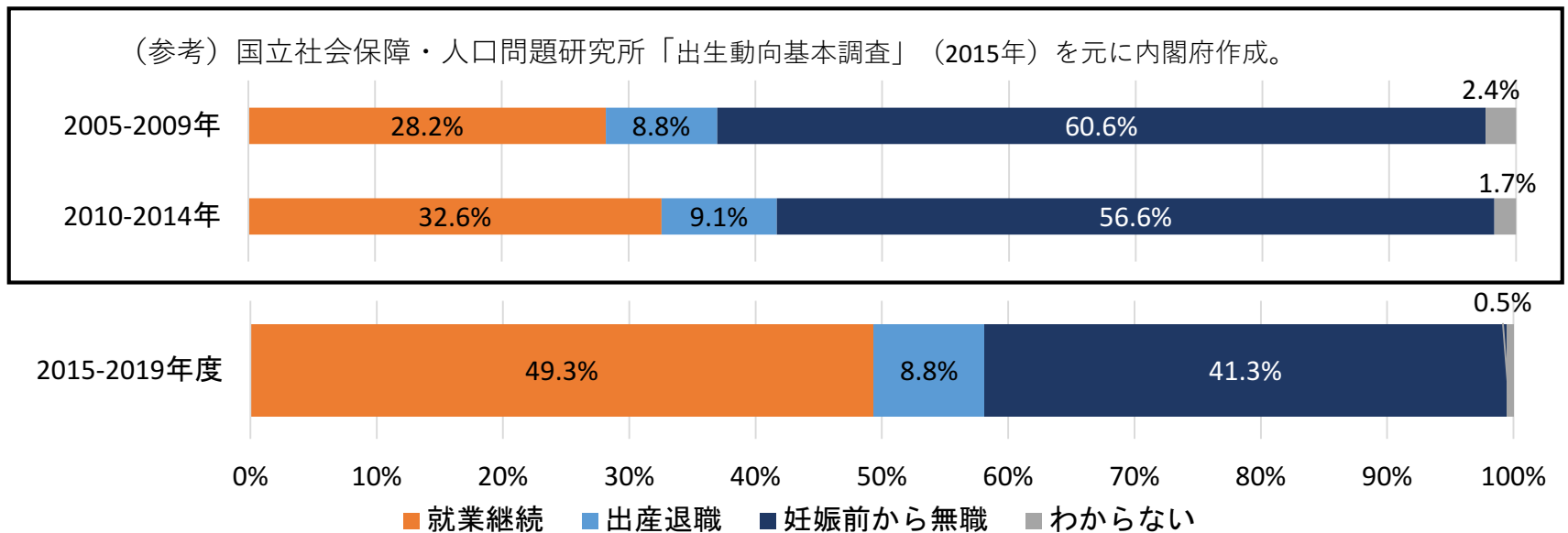


2. 【子育て】 出産前後の就業状況の変化 (女性)

<第1子>



<第2子>

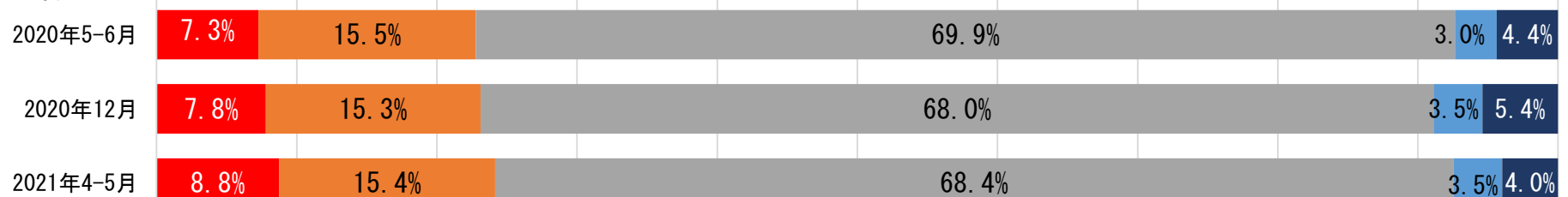


※就業状況の変化は、妻の妊娠判明時と子ども1歳時の従業上の地位の変化を見たもの。

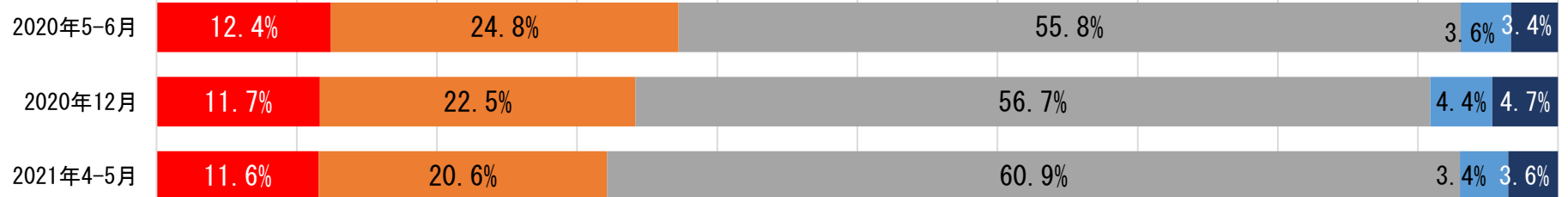
2. 【結婚】結婚への関心の変化（未婚者）

※2019年12月（感染症拡大前）からの変化を質問

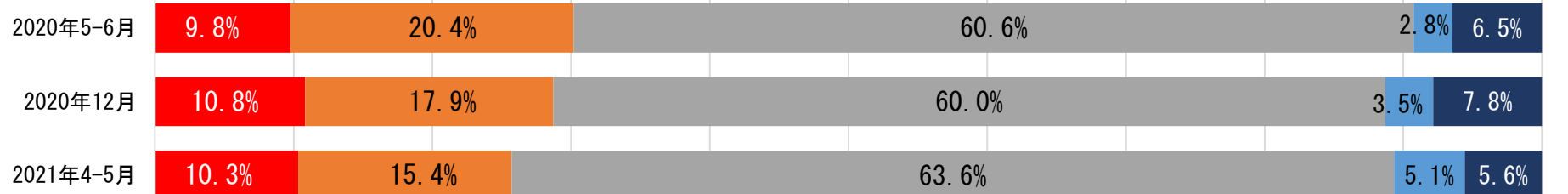
<全体>



<20歳代>



<30歳代>

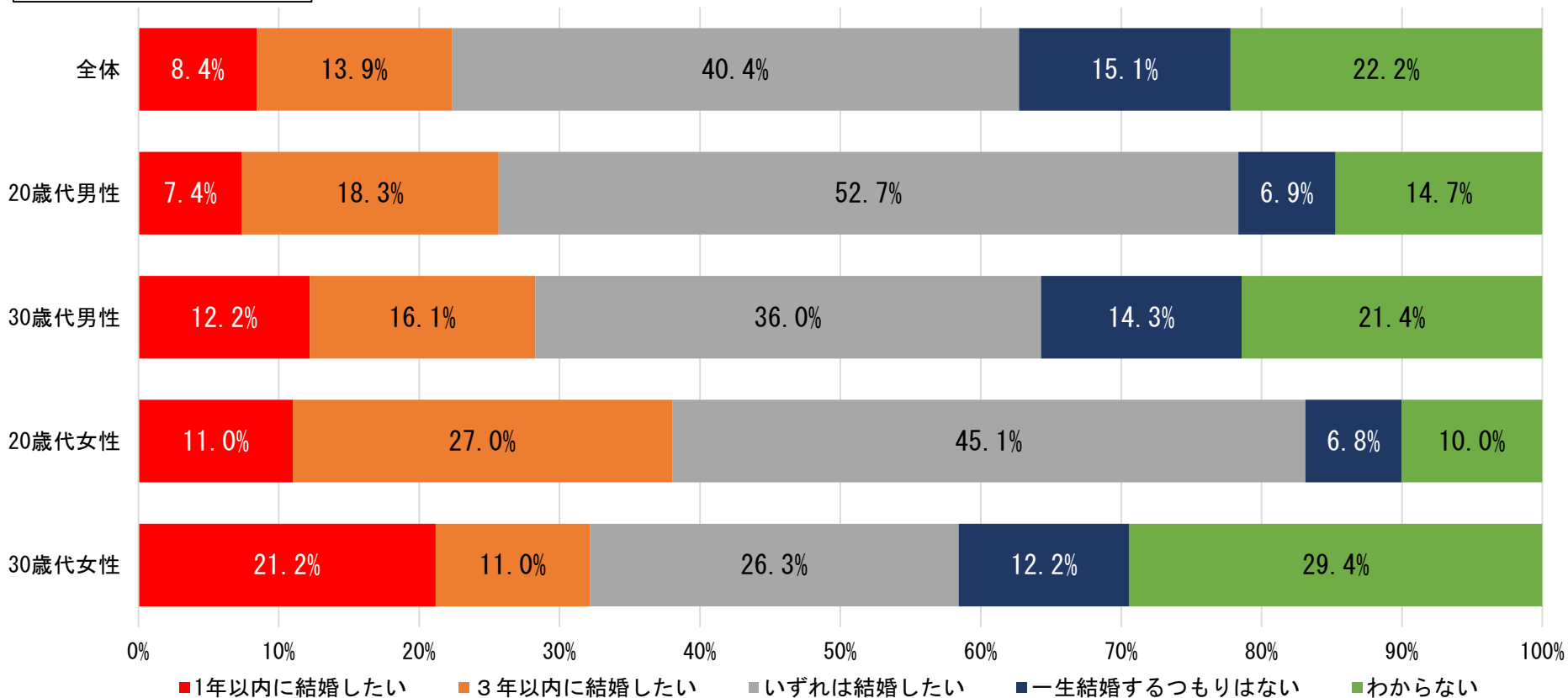


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

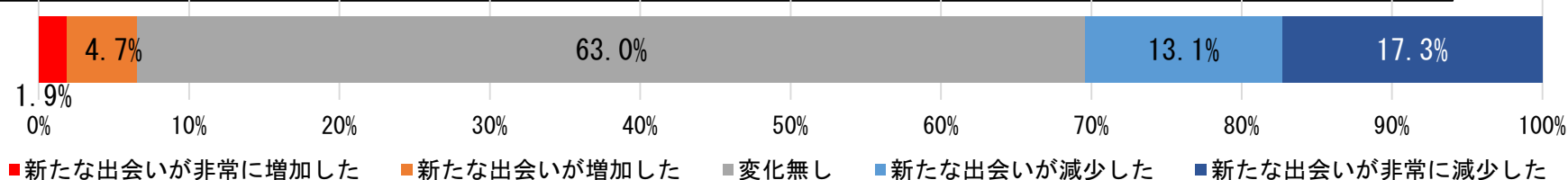
■ 関心が高くなった ■ 関心がやや高くなった ■ 変わらない ■ 関心がやや低くなった ■ 関心が低くなった

2. 【結婚】結婚希望・出会い（未婚者）

結婚希望

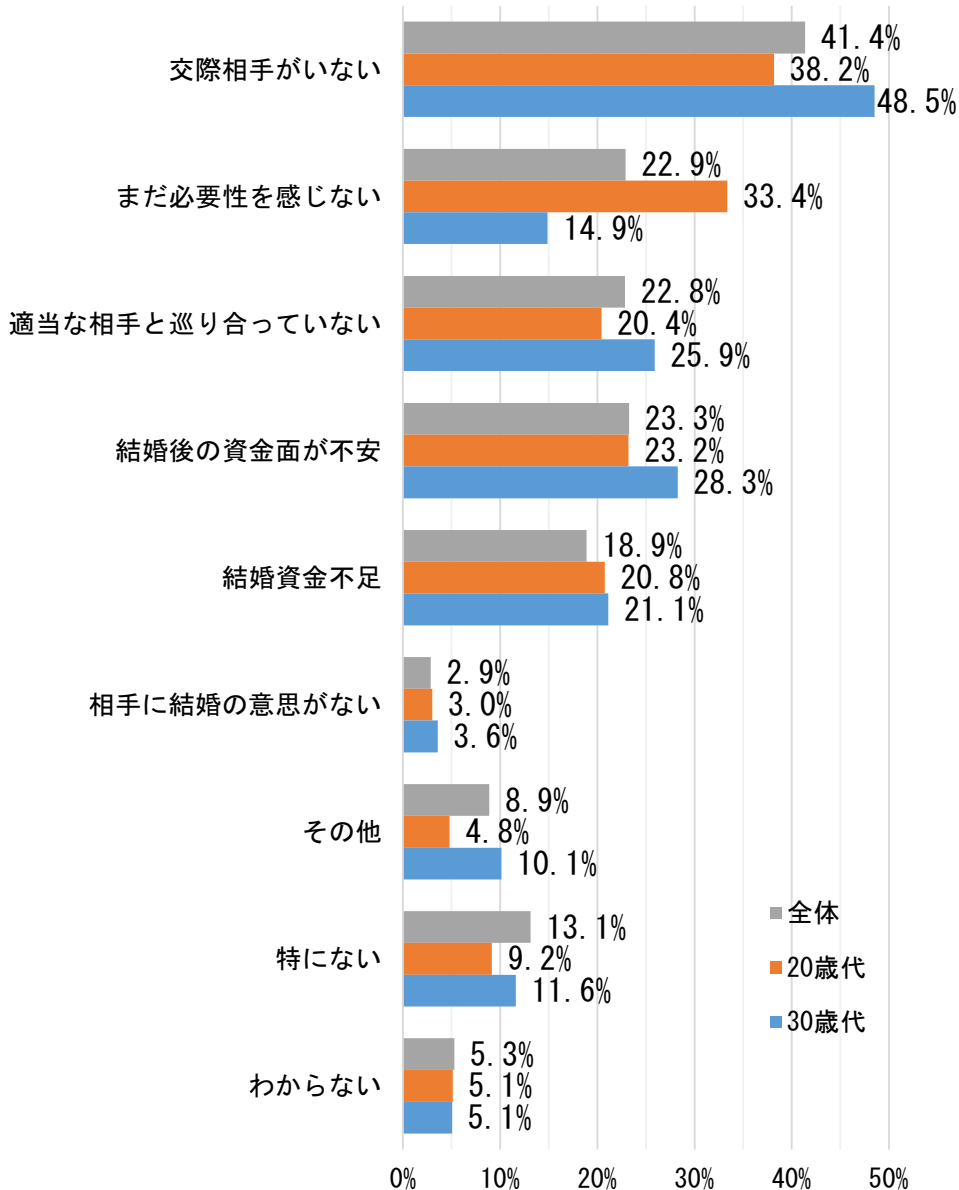


出会いの数の変化<感染症拡大前（2019年12月）との比較>（未婚者で出会いを探している人）

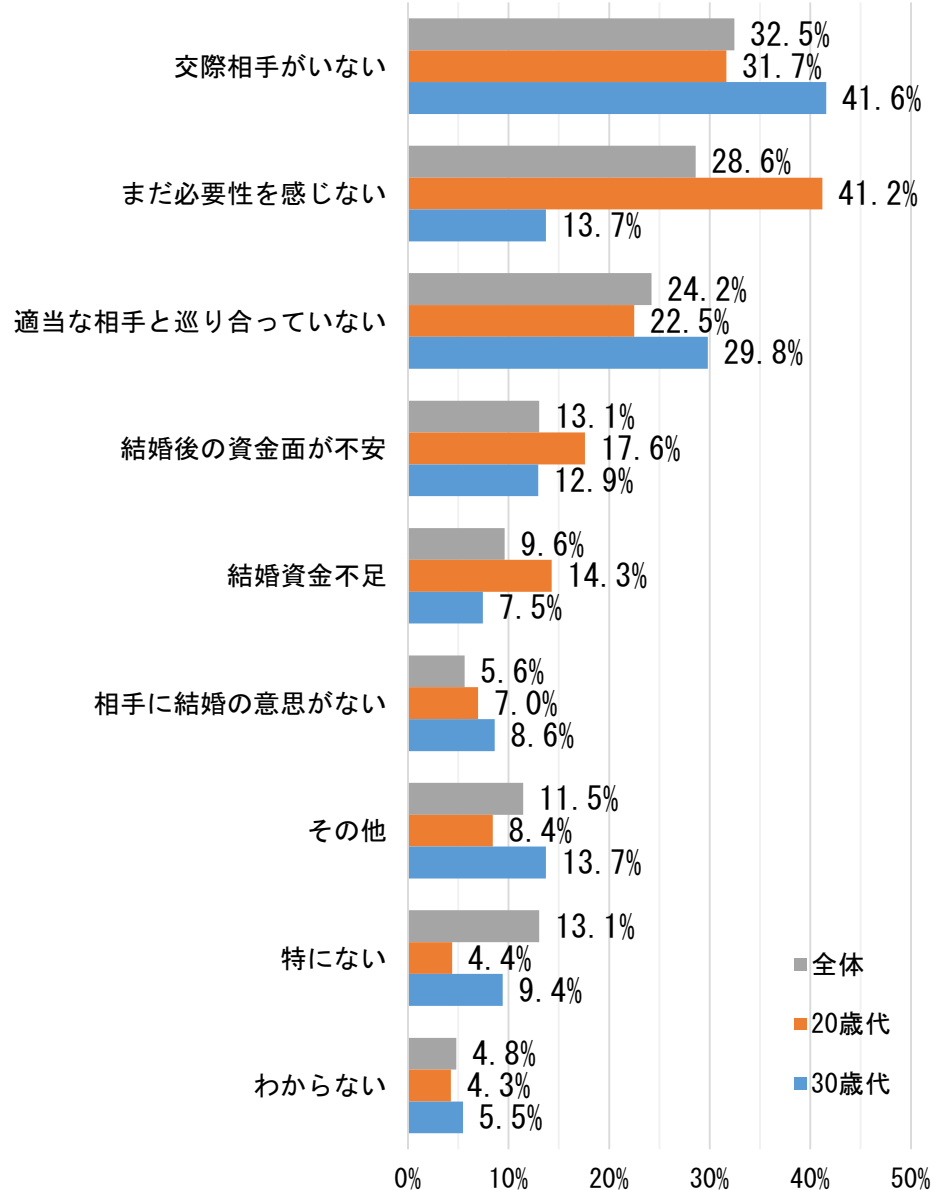


2. 【結婚】結婚していない理由（未婚者）

<男性>

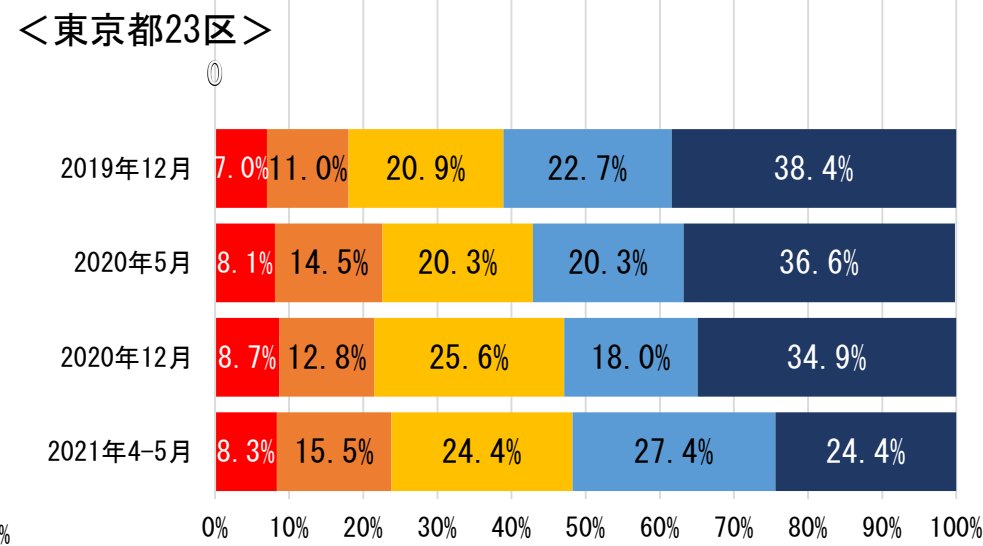
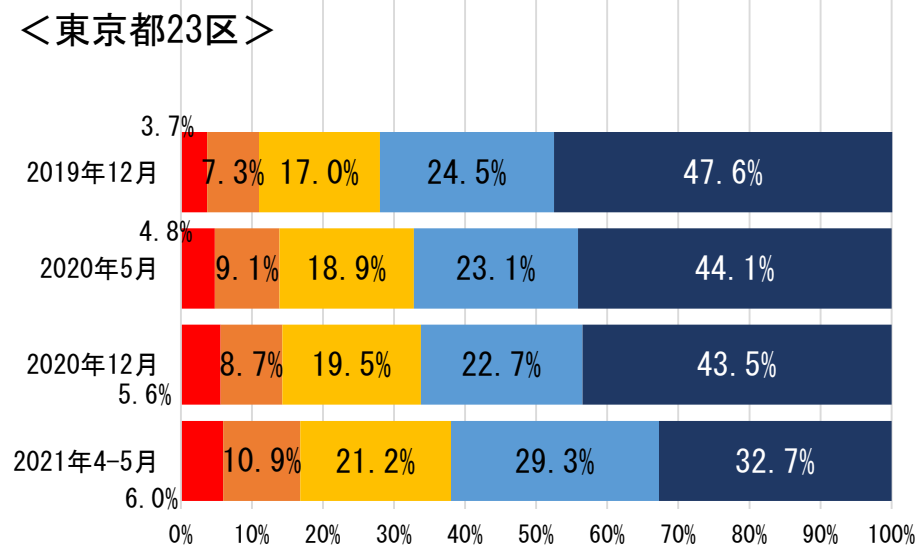
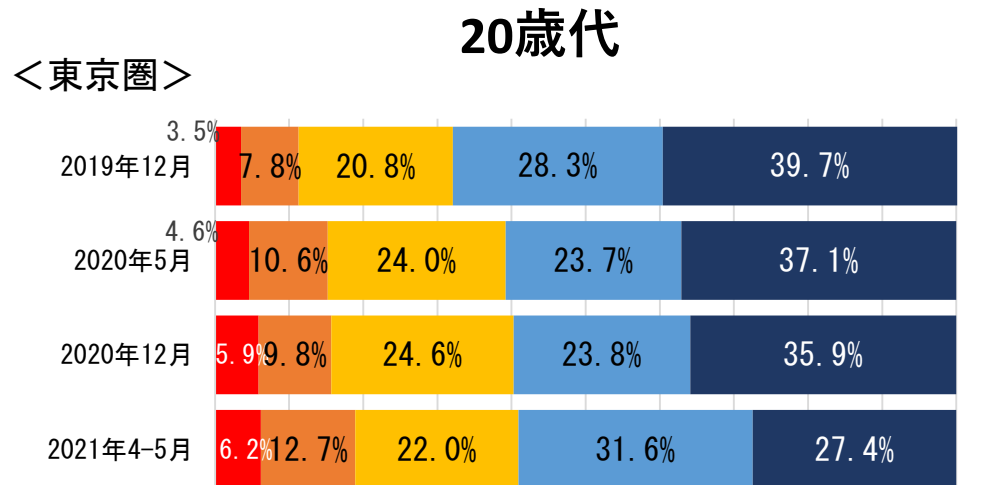
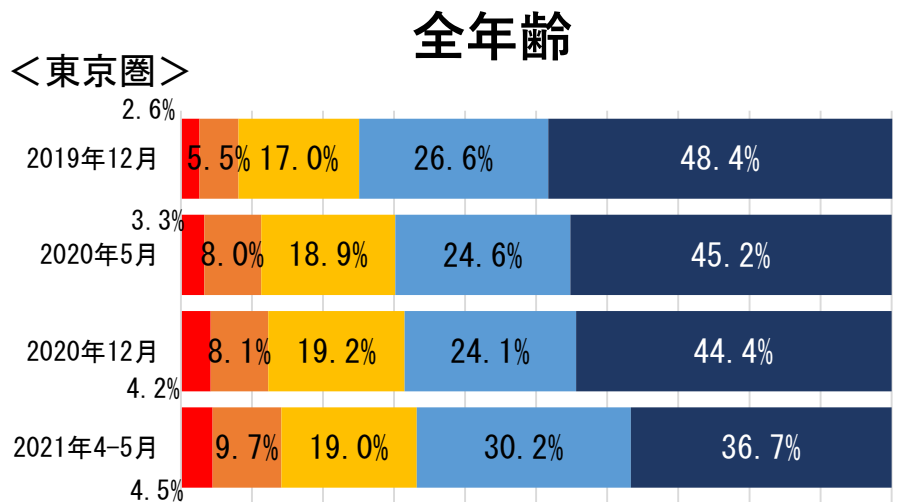


<女性>



3. 地方

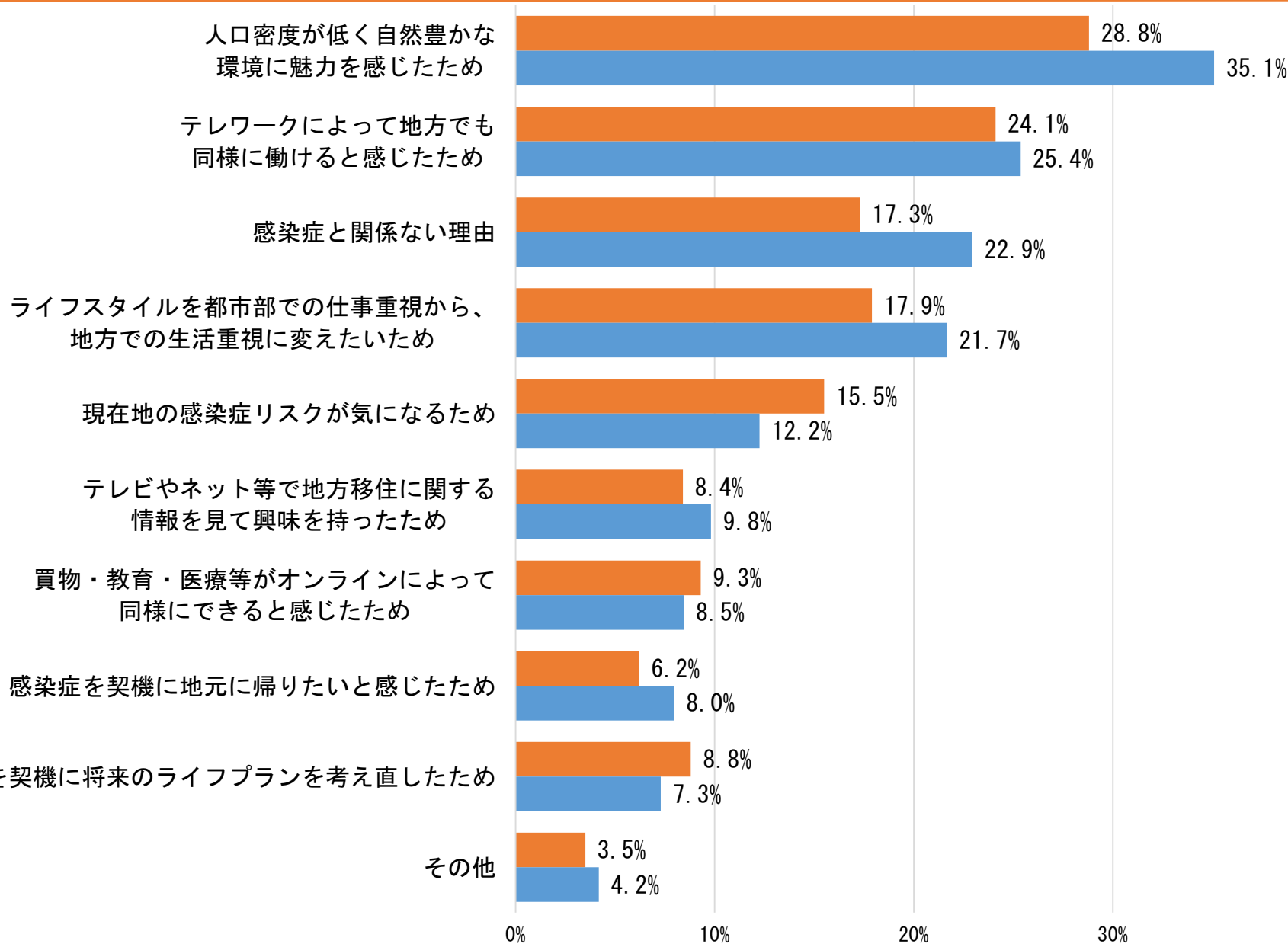
3. 【地方】地方移住への関心（東京圏在住者）



■ 強い関心がある
 ■ 関心がある
 ■ やや関心がある
■ あまり関心がない
 ■ まったく関心がない

■ 強い関心がある
 ■ 関心がある
 ■ やや関心がある
■ あまり関心がない
 ■ まったく関心がない

3. 【地方】地方移住への関心理由（東京圏在住で地方移住に関心がある人）



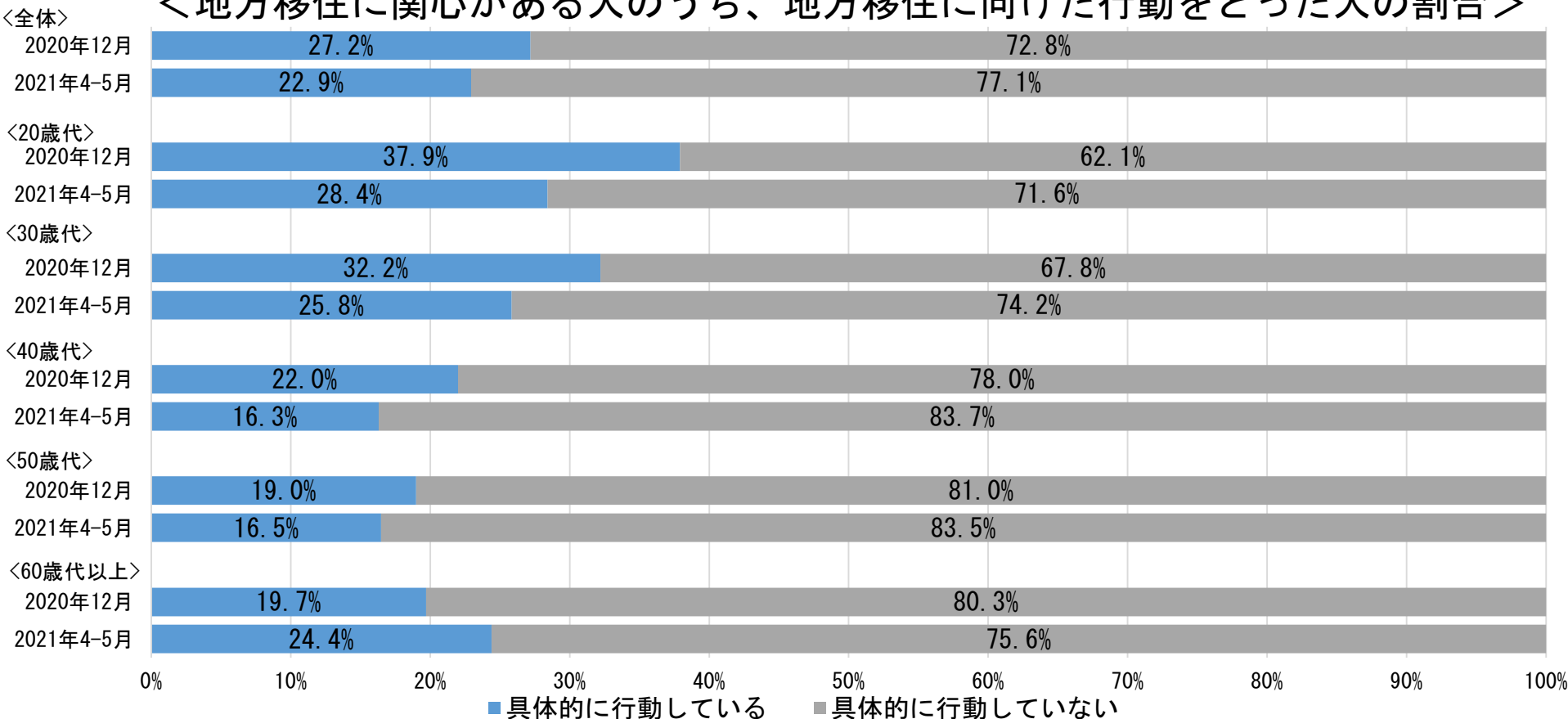
※「特になし」と回答した人の割合は
 前は20.0%、今回は9.5%

■ 2020年12月 ■ 2021年4-5月

3. 【地方】 地方移住に向けた行動 (東京圏在住で地方移住に関心がある人)

※直近半年以内の行動を質問

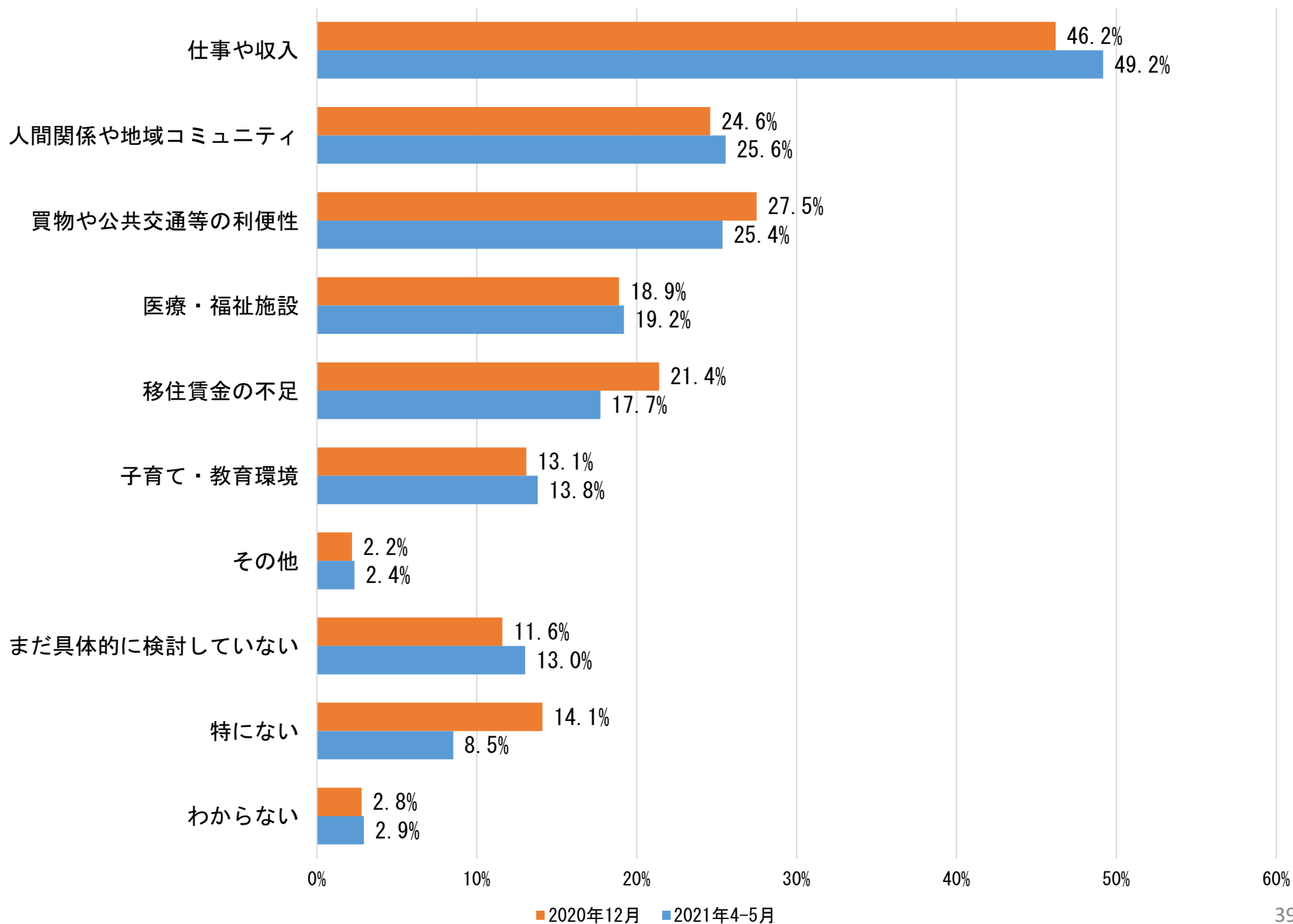
＜地方移住に関心がある人のうち、地方移住に向けた行動をとった人の割合＞



＜行動の具体的な内容＞

	移住先での住宅情報を調べた	移住先での就職情報を調べた	移住に向けて家族と具体的な相談をした	移住先の学校情報を調べた	移住のための相談窓口を利用した	移住先を決定し、具体的な引っ越し予定がある	引越資金集めを始めた
全体 (2020年12月)	13.1%	7.0%	4.9%	3.1%	2.7%	2.6%	2.3%
全体 (2021年4-5月)	11.2%	8.8%	3.1%	3.5%	1.1%	2.3%	1.9%
20歳代 (2020年12月)	13.9%	11.8%	5.7%	5.4%	6.1%	3.2%	3.2%
20歳代 (2021年4-5月)	10.2%	11.4%	2.7%	5.3%	1.5%	2.7%	2.7%

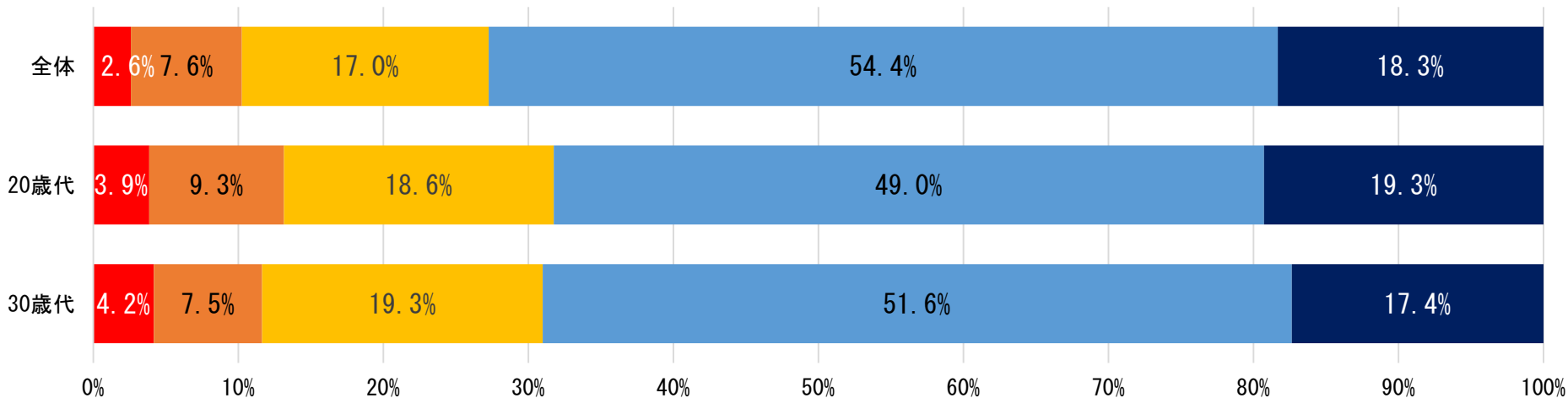
3. 【地方】地方移住にあたっての懸念（東京圏在住で地方移住に関心がある人）



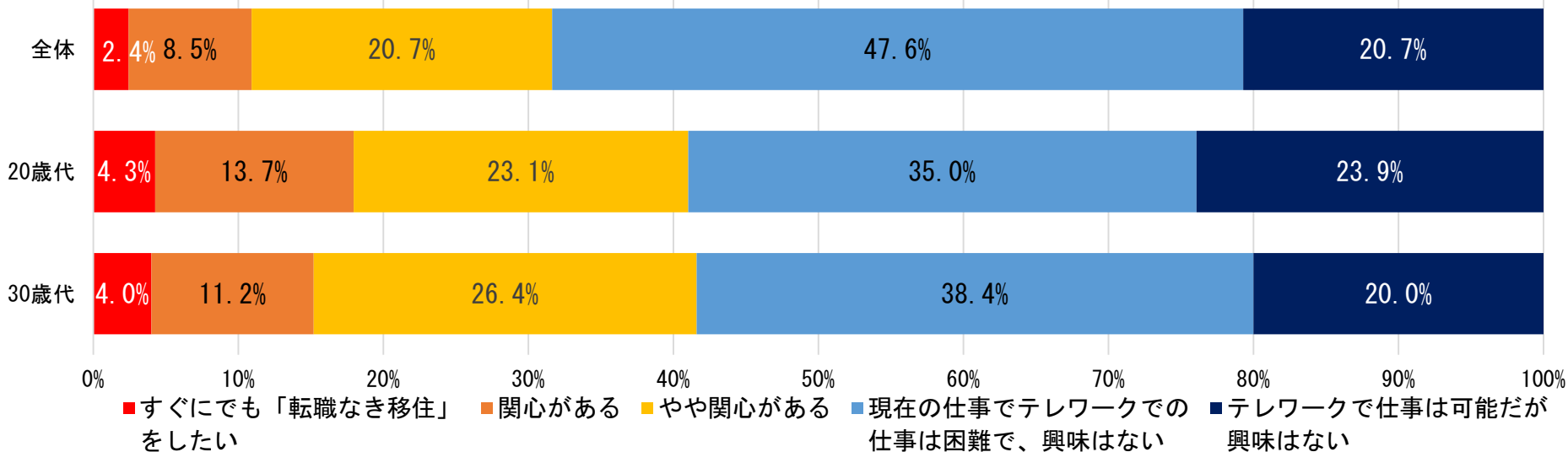
3. 【地方】「転職なき移住」への関心（東京圏の就業者）

転職なき移住： 地方に移住し、地方に住みながら、テレワークで現在と同じ仕事を継続することとして質問

<東京圏>



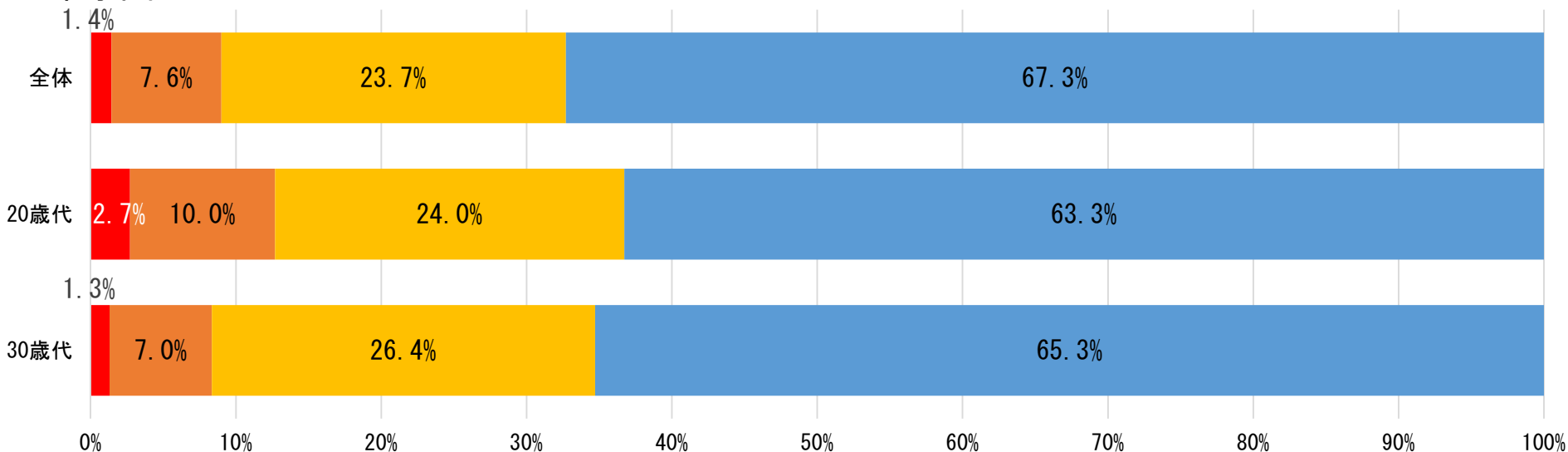
<東京都23区>



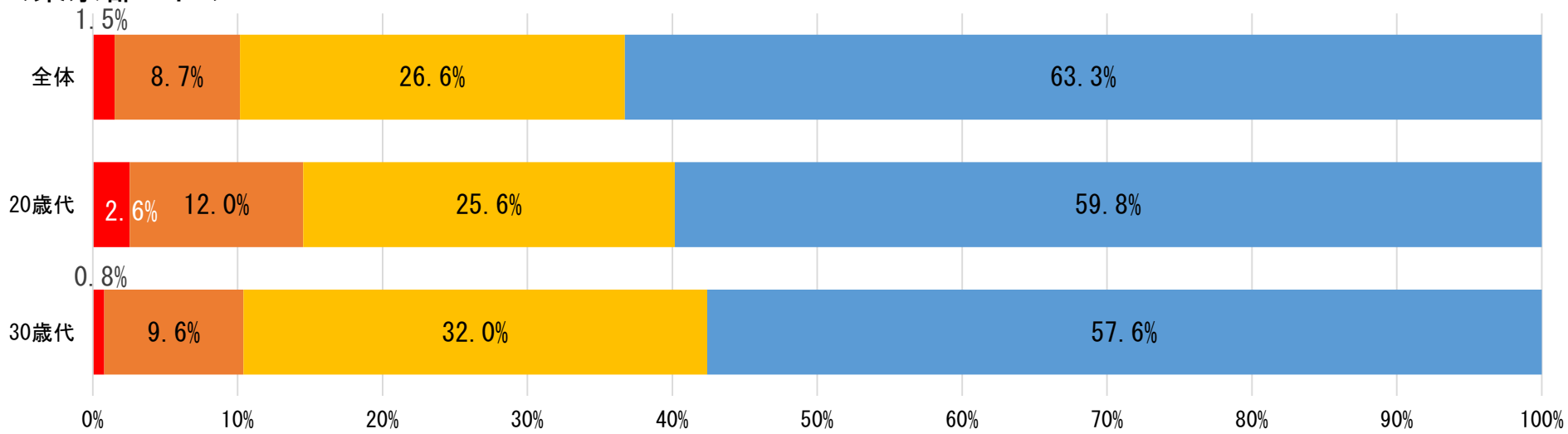
3. 【地方】二地域居住や多拠点居住への関心（東京圏の就業者）

二地域居住や多拠点居住：地方の別荘やシェアハウスで定期的に暮らす（1年間の1ヵ月以上を地方で暮らす）こととして質問

<東京圏>



<東京都23区>

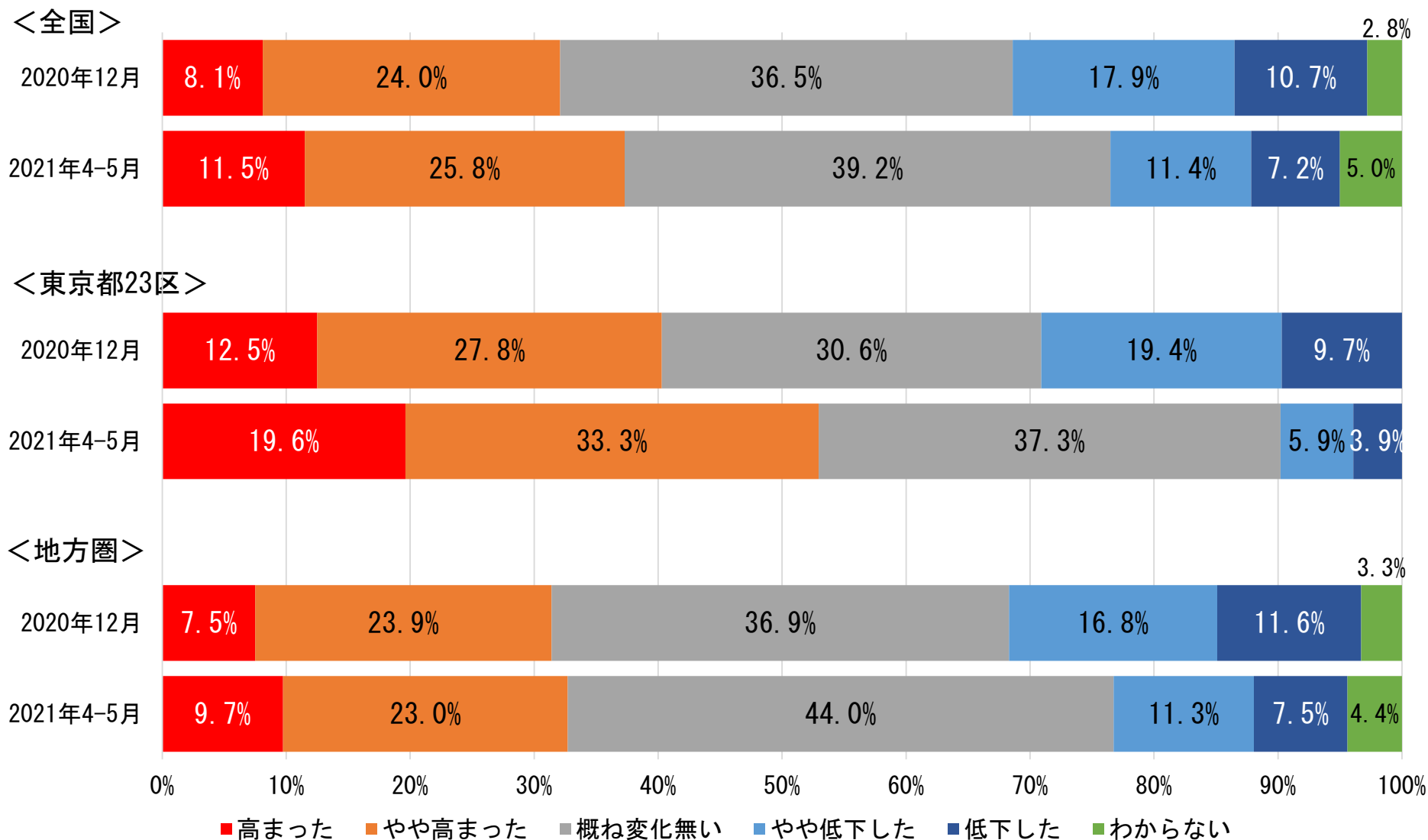


■ すぐにでも「二地域居住」や「多拠点居住」をしたい ■ 関心がある ■ やや関心がある ■ 関心は無い

4. その他

4. 【その他】学習意欲の変化（高校生・大学生等の学生）

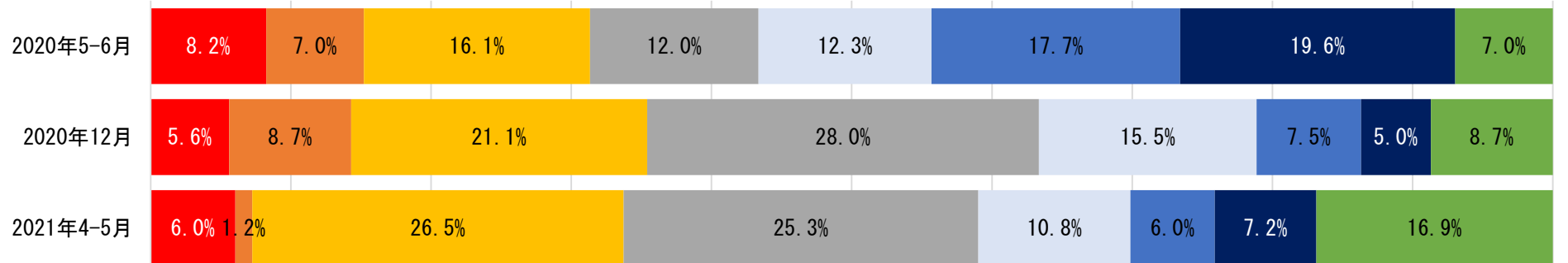
※2019年12月（感染症拡大前）からの変化を質問



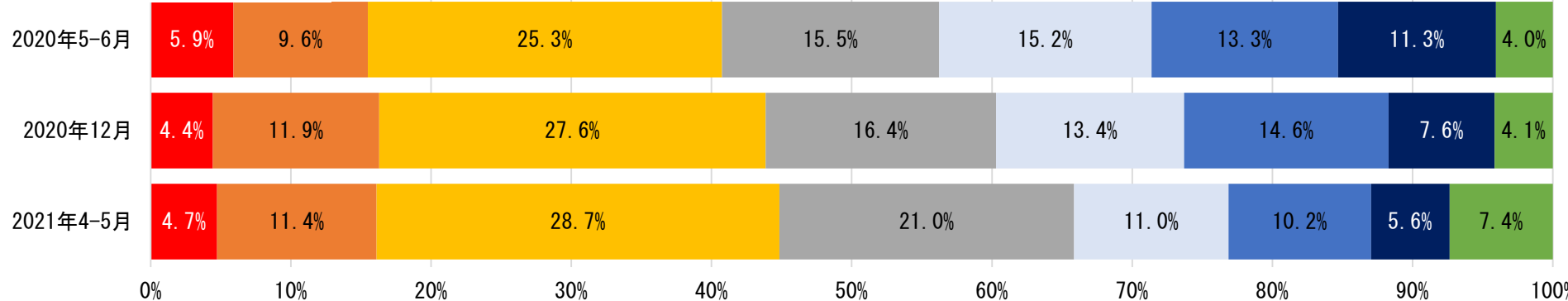
4. 【その他】学習時間の変化（高校生・大学生等の学生）

※2019年12月（感染症拡大前）からの変化を質問

<高校生>



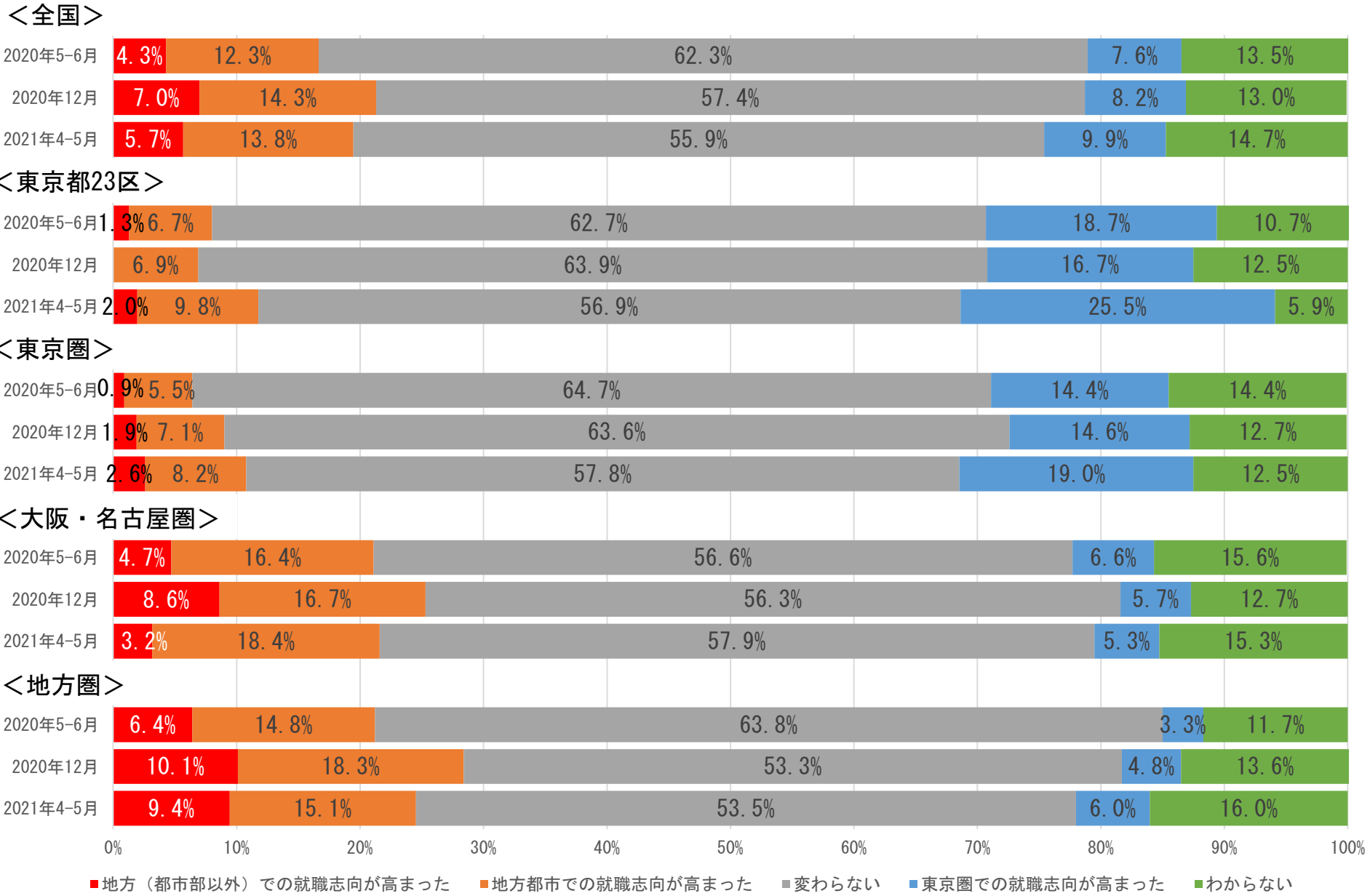
<大学生・大学院生>



- 大幅に増加 (51%以上増加)
- 増加 (21%~50%増加)
- やや増加 (6%~20%増加)
- 概ね変化無い (5%減少~5%増加)
- やや減少 (6%~20%減少)
- 減少 (21%~50%減少)
- 大幅に減少 (51%以上減少)
- わからない

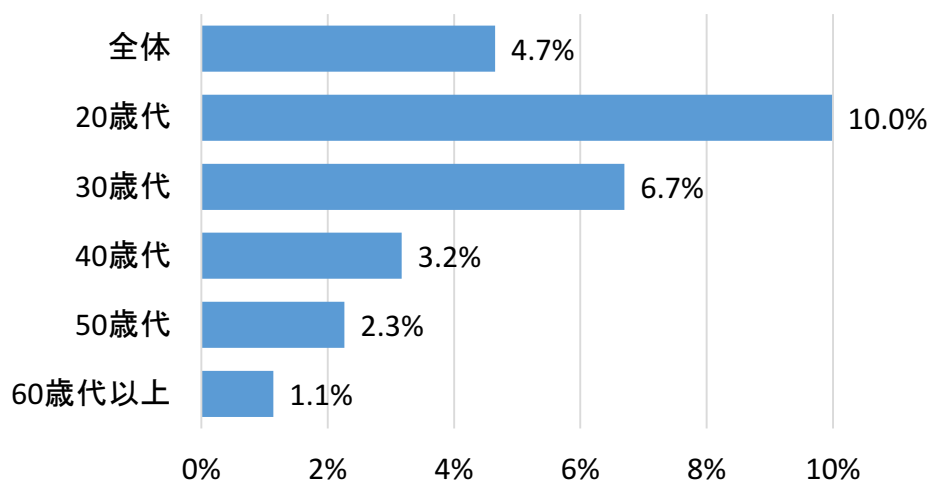
4. 【その他】将来の進路希望の変化 (高校生・大学生等の学生)

※2019年12月（感染症拡大前）からの変化を質問

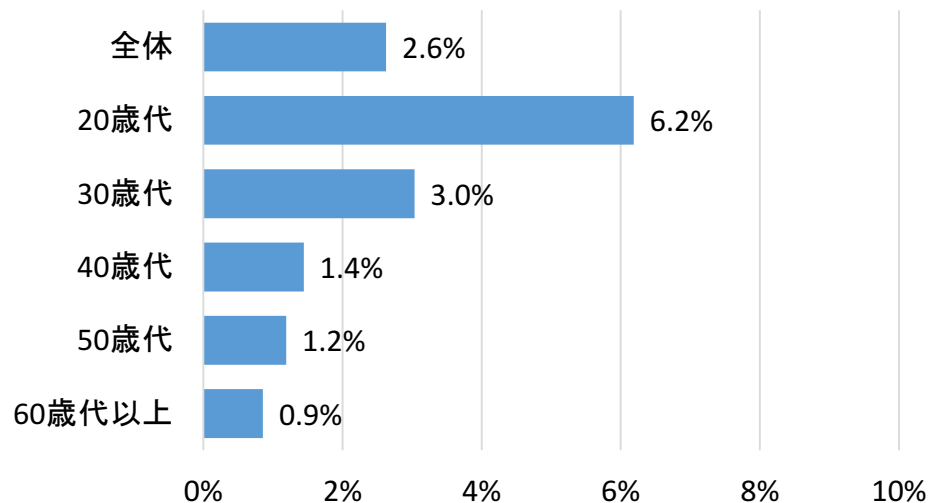


4. 【その他】 GWの過ごし方 (全員)

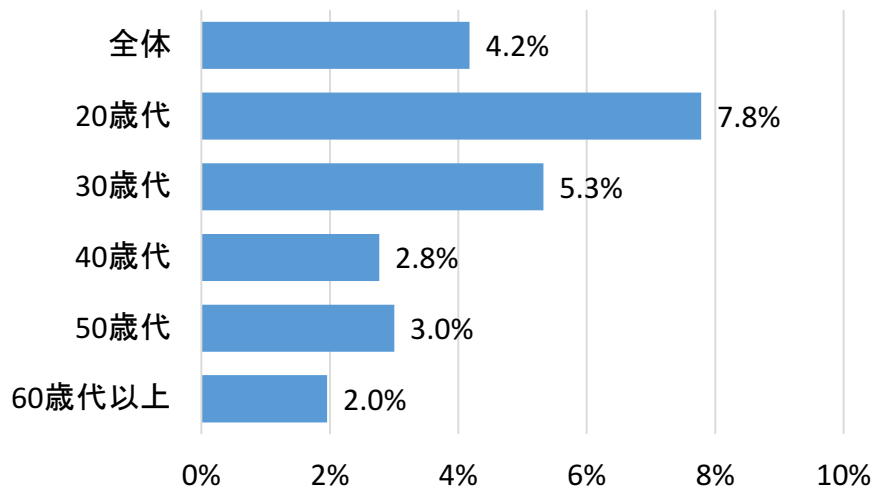
遠方の実家へ帰省する



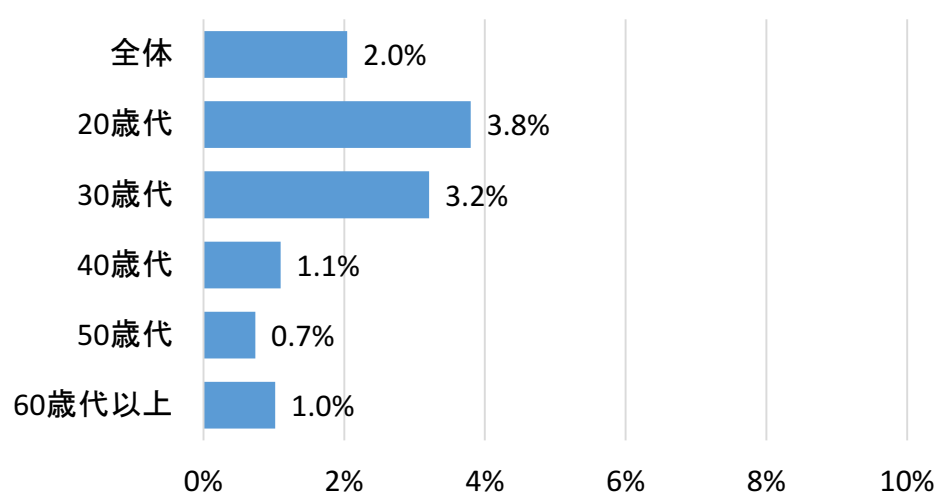
普段はあまり会わない友人と会う



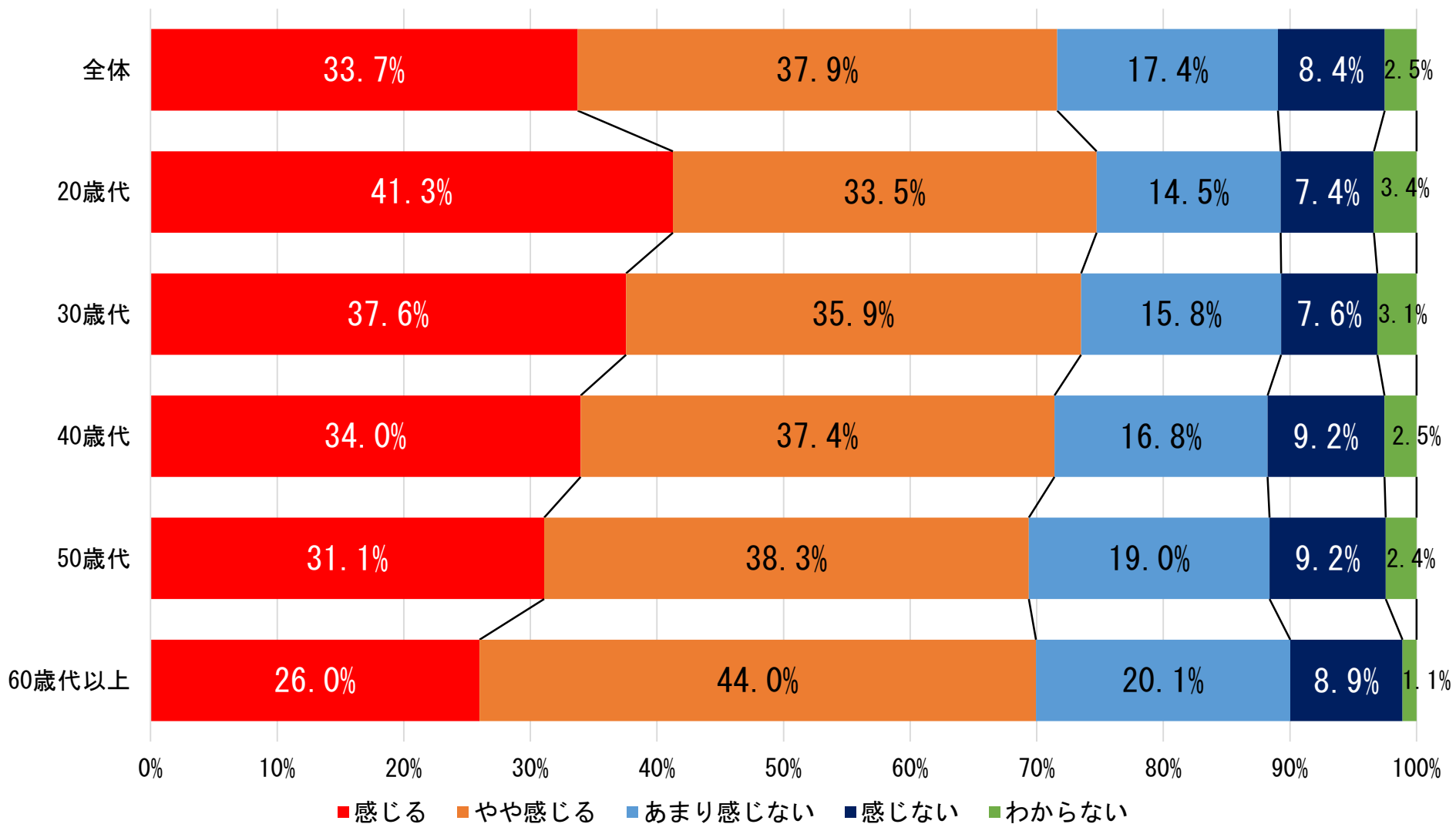
居住している都道府県以外へ旅行する



大人数 (5人以上) で会食する

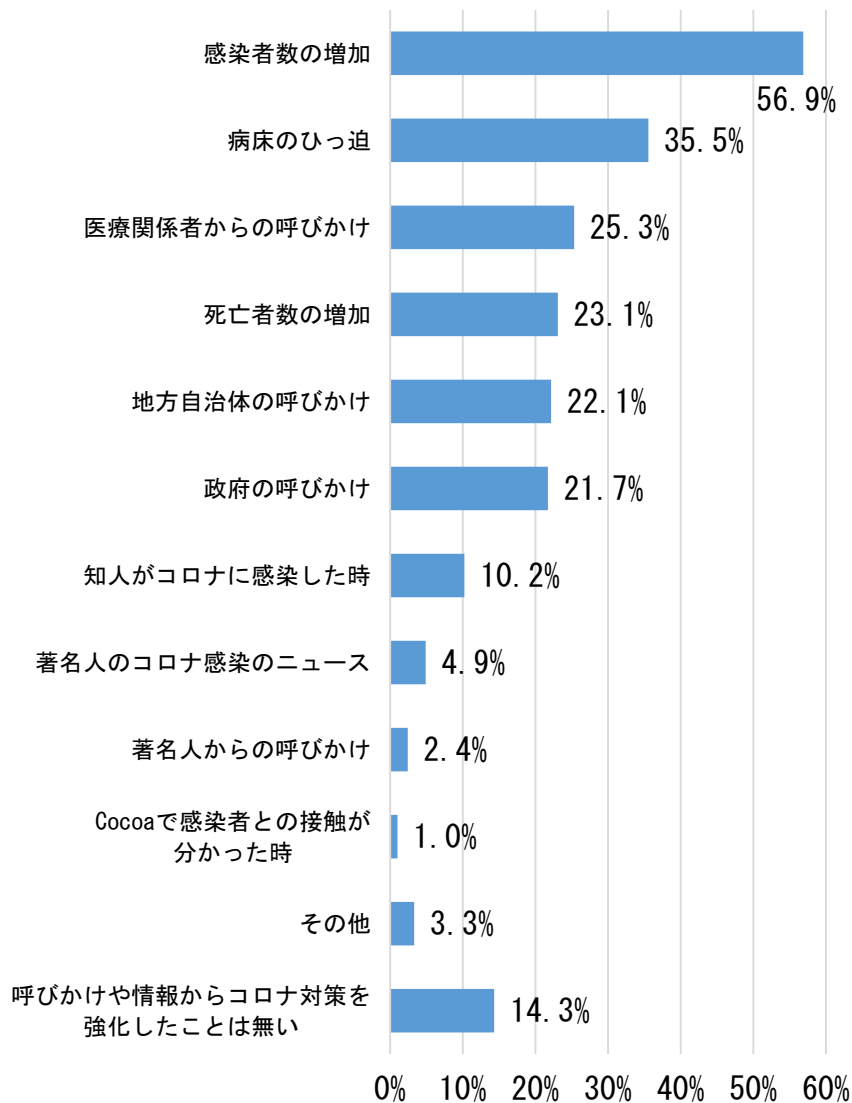


4. 【その他】 コロナ疲れ (全員)



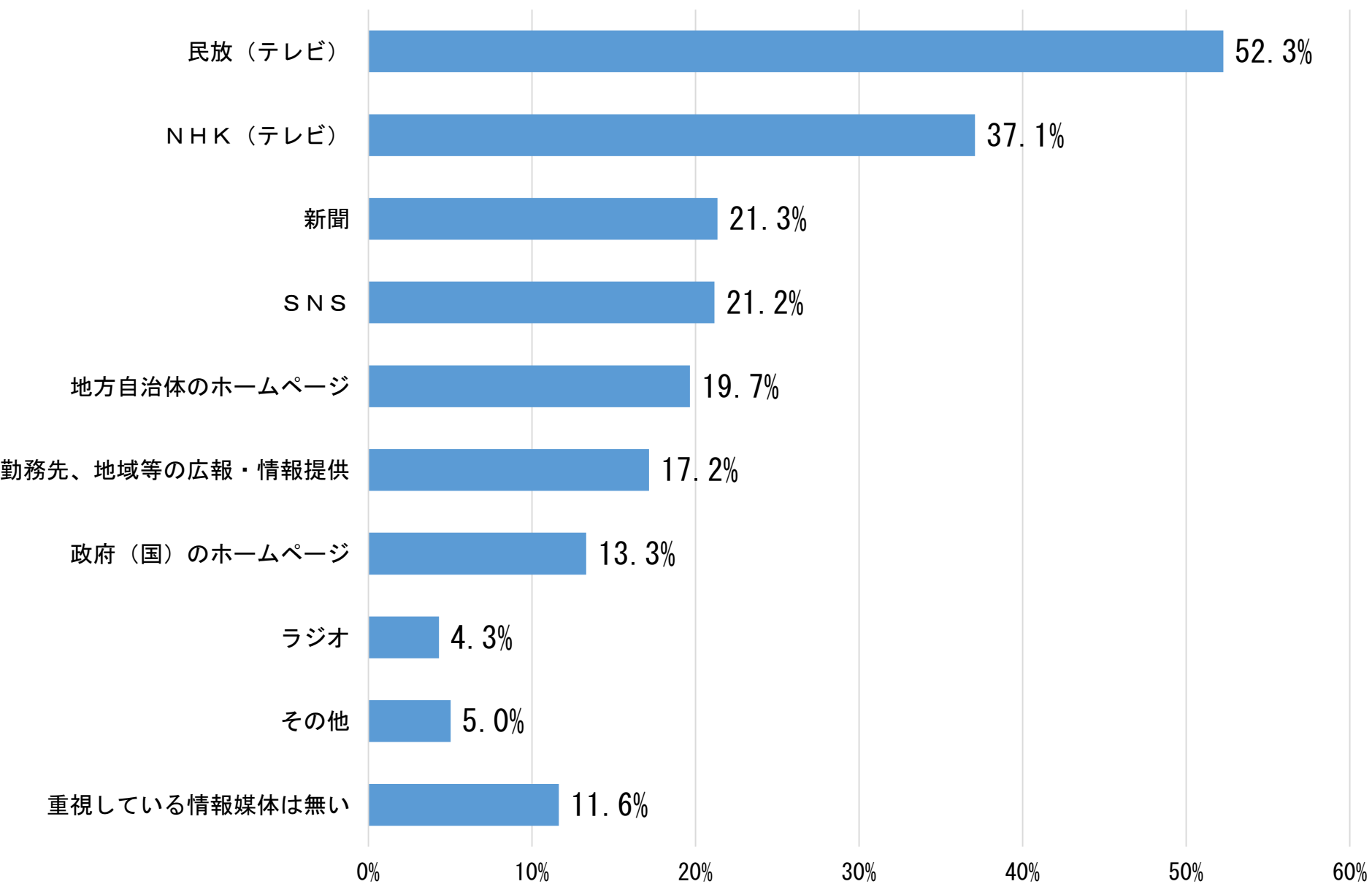
4. 【その他】自身のコロナ対策のきっかけとして重視する情報等 (全員)

<全年齢計>



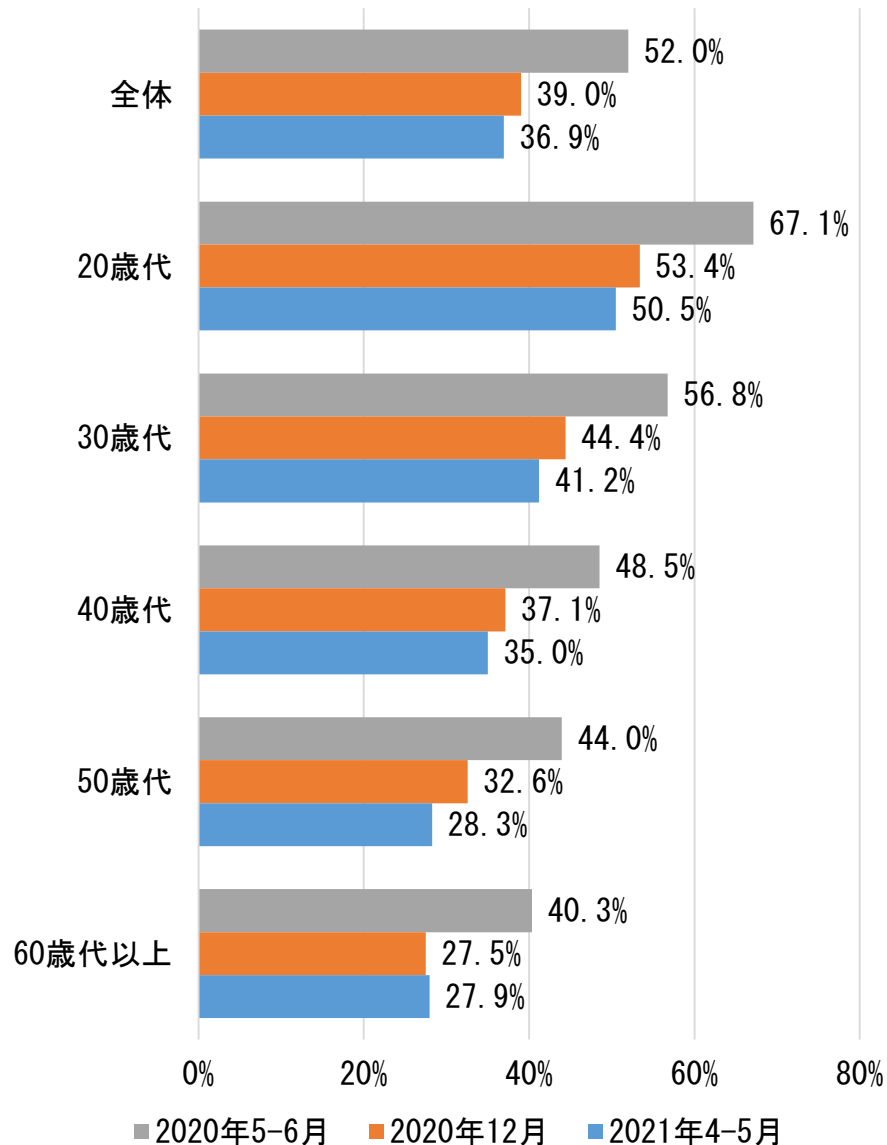
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
感染者数の増加	46.5%	51.5%	57.1%	59.2%	68.6%
病床のひっ迫	25.8%	31.7%	35.6%	38.5%	46.4%
医療関係者の呼びかけ	23.4%	22.6%	24.5%	24.7%	30.4%
死亡者数の増加	17.9%	21.3%	24.0%	25.3%	27.3%
自治体の呼びかけ	17.4%	20.5%	21.4%	24.0%	26.9%
政府の呼びかけ	21.5%	22.7%	21.5%	22.2%	20.4%
知人のコロナ感染	14.6%	11.7%	10.0%	8.4%	6.6%
著名人のコロナ感染	5.8%	5.3%	4.2%	5.0%	4.0%
著名人の呼びかけ	4.5%	2.5%	1.7%	1.6%	0.9%
Cocoaの接触情報	1.2%	1.5%	0.7%	0.6%	0.9%
その他	3.5%	3.4%	3.8%	4.2%	1.9%
呼びかけや情報からコロナ対策を強化したことは無い	18.1%	17.5%	14.3%	12.9%	9.4%

4. 【その他】コロナ対策で重視する情報媒体（全員）

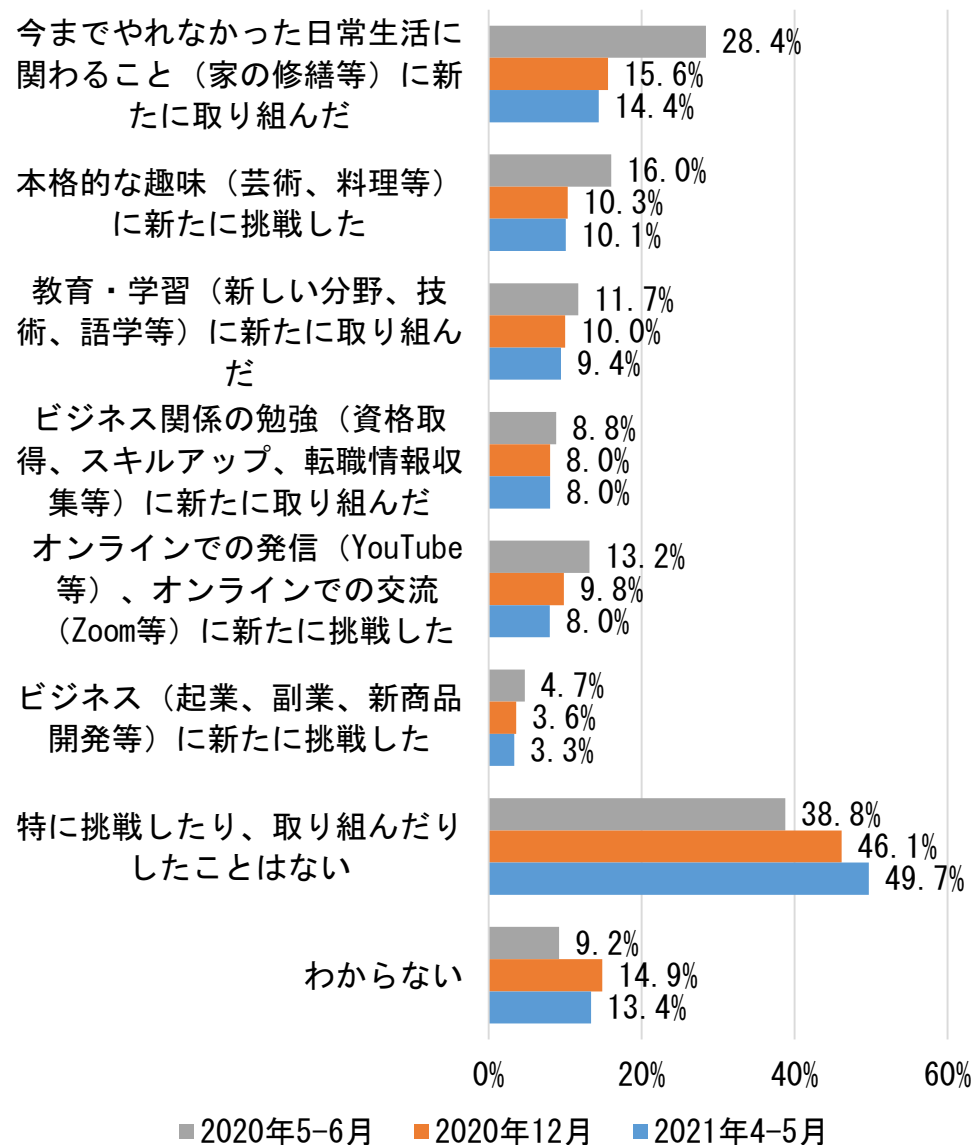


4. 【その他】新たな挑戦・取組 (全員)

何らかの挑戦・取組をしたと回答した者の割合 (年代別)

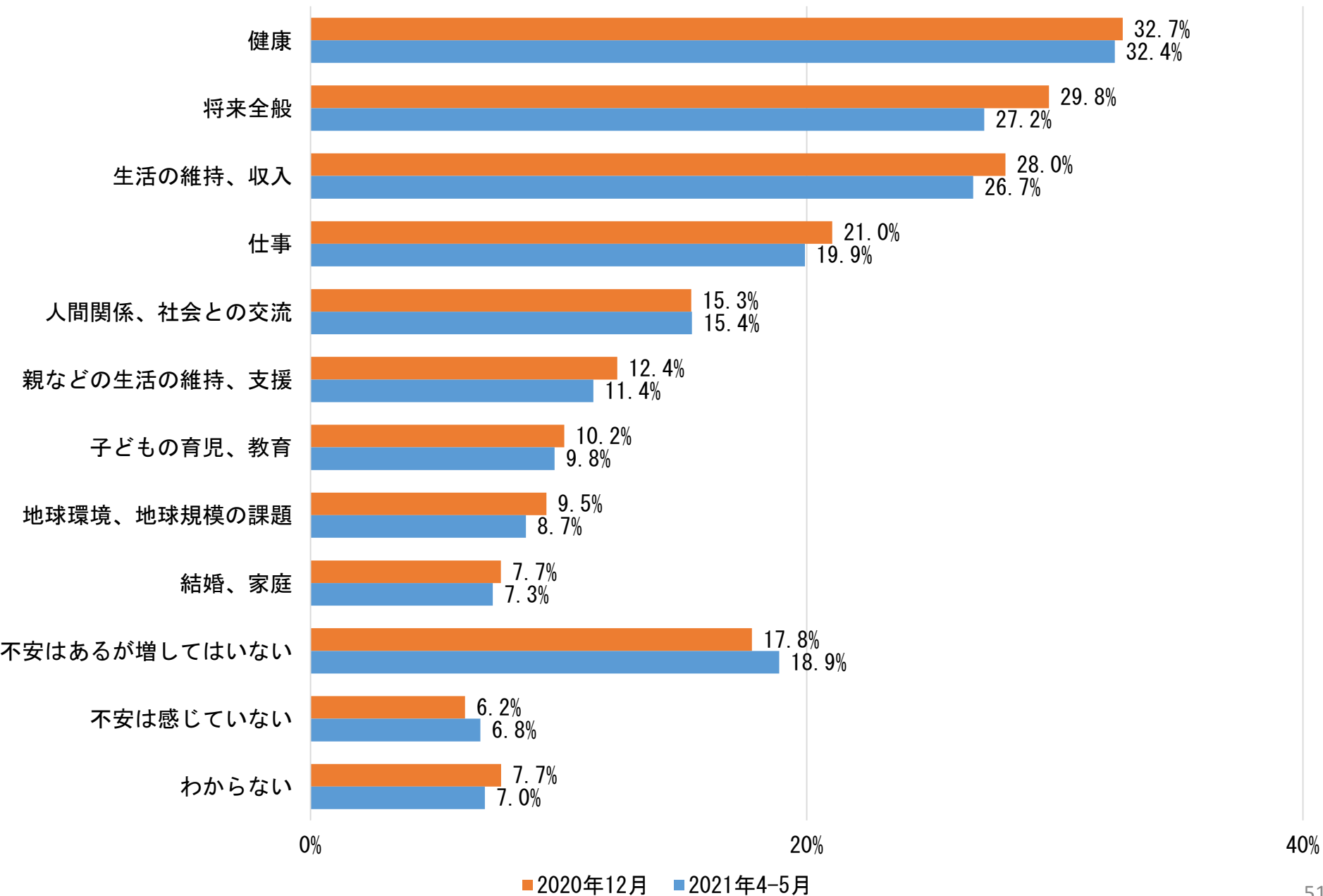


挑戦・取組の項目別回答割合 (全体)



4. 【その他】 不安の増加（全員）

※2019年12月（感染症拡大前）からの変化を質問



4. 【その他】不安の増加（全員）

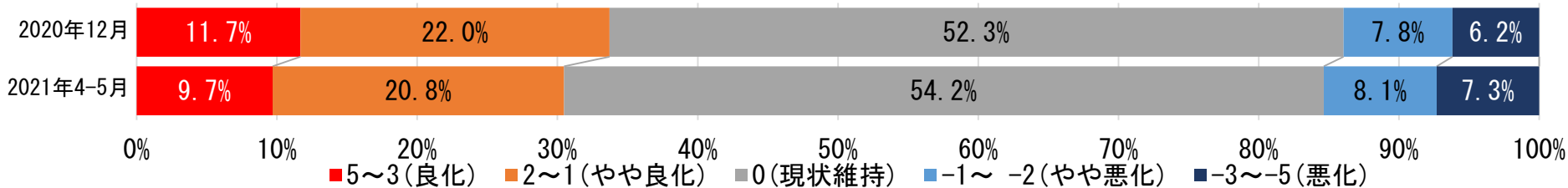
※2019年12月（感染症拡大前）からの変化を質問

（回答者数/回答対象者数）	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
健康	32.4%	22.9%	21.5%	26.5%	30.7%	36.1%	43.7%	49.8%
将来全般	27.2%	31.1%	23.2%	21.8%	24.0%	30.7%	32.5%	35.4%
生活の維持、収入	26.7%	16.7%	27.3%	29.4%	34.5%	29.4%	20.0%	14.4%
仕事	19.9%	16.0%	27.6%	24.8%	24.6%	20.0%	9.2%	2.8%
人間関係、社会との交流	15.4%	24.9%	18.7%	15.5%	13.3%	12.0%	14.1%	17.3%
親などの生活の維持、支援	11.4%	7.5%	8.8%	11.9%	16.2%	16.0%	9.1%	3.4%
地球環境、地球規模の課題	8.7%	7.8%	4.5%	5.1%	7.4%	7.9%	15.0%	18.8%
子どもの育児、教育	9.8%	3.1%	8.0%	22.4%	16.1%	6.2%	1.6%	1.1%
結婚、家庭	7.3%	6.8%	16.8%	11.9%	6.3%	2.2%	0.5%	0.2%
不安はあるが増してはいない	18.9%	15.7%	16.8%	16.4%	18.4%	19.1%	23.3%	22.4%
不安はない	6.8%	6.8%	6.9%	5.8%	7.0%	8.0%	6.8%	6.0%
わからない	7.0%	13.7%	9.7%	9.0%	6.7%	5.5%	4.0%	3.3%

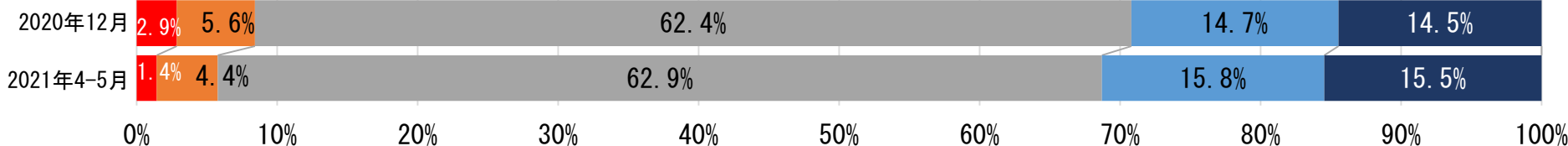
4. 【その他】社会の変化等 (全員)

質問 自分自身の暮らしのデジタル化が進んでいると感じますか。

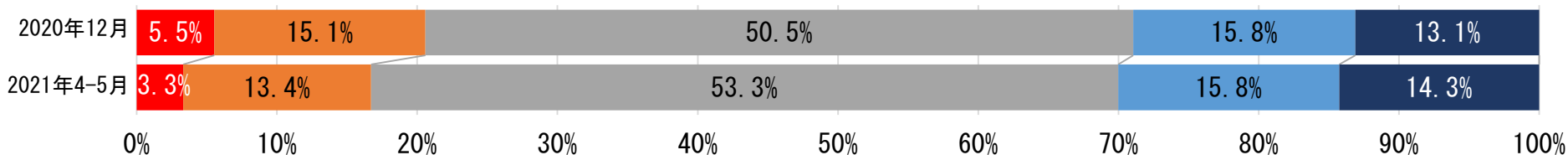
※+5点 ~ -5点までの11段階評価で回答。「非常に良化している」が+5点、「現状維持」が0点、「非常に悪化している」を-5点としている。以下の質問も回答の選択肢は同じ。



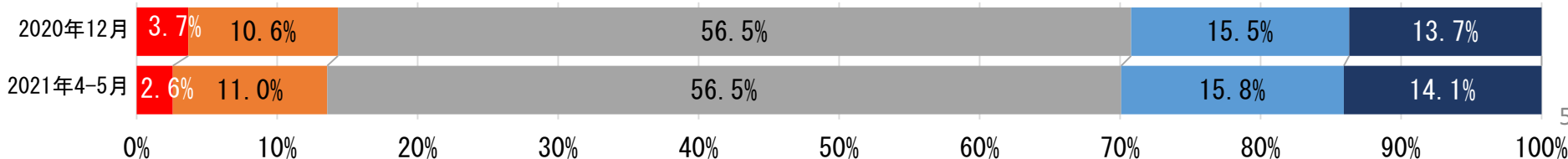
質問 地域のつながりや助け合いが広がっていると感じますか。



質問 職場・地域・行政等の変化が進んでいると感じますか。



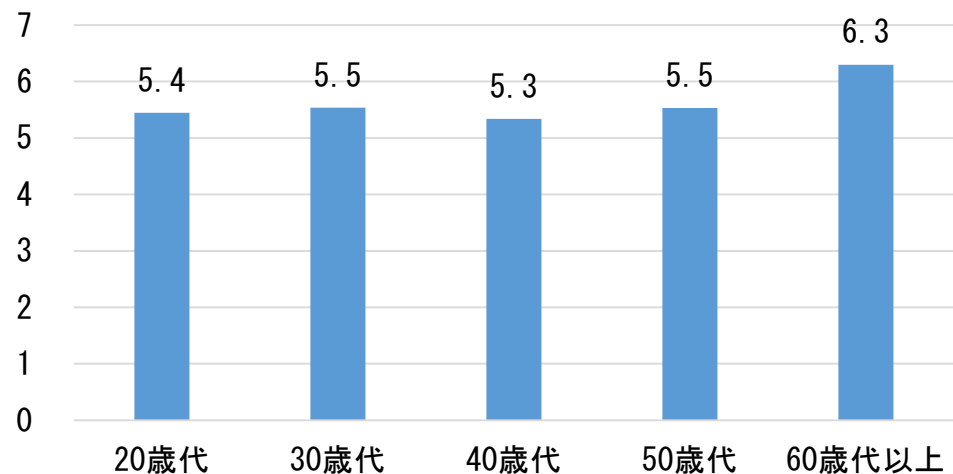
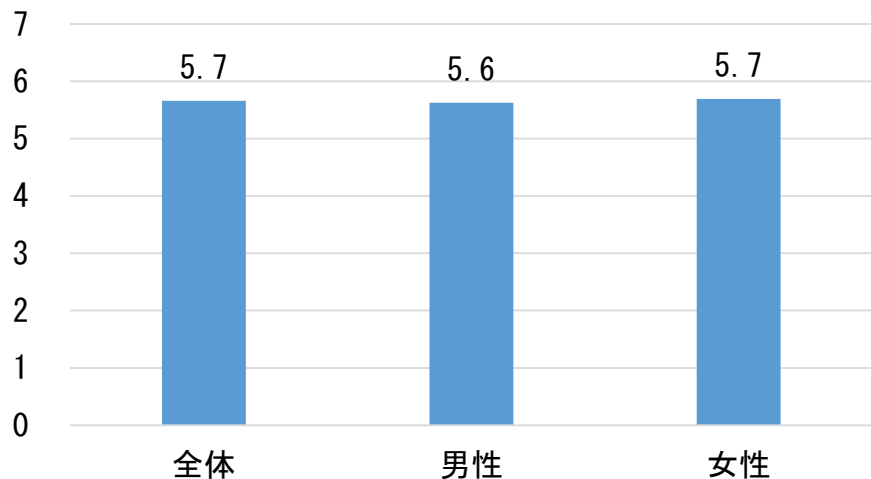
質問 地域環境問題などの国際的課題への取組が広がっていると感じますか。



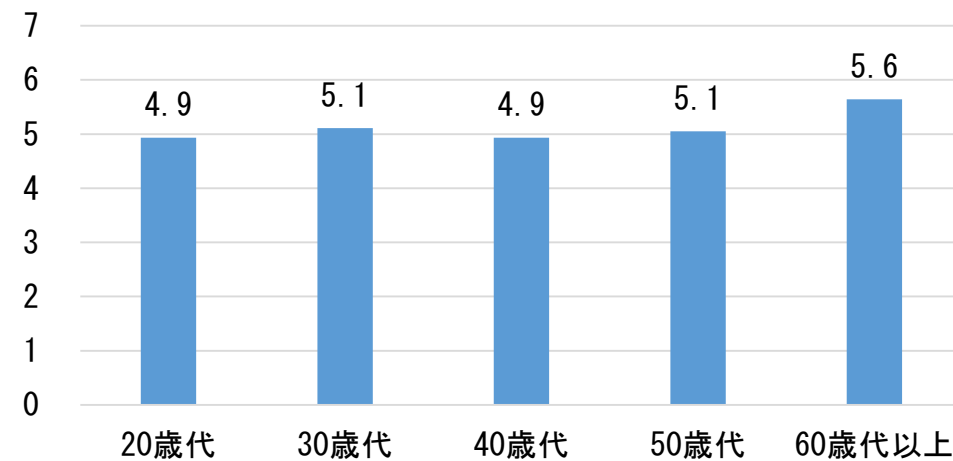
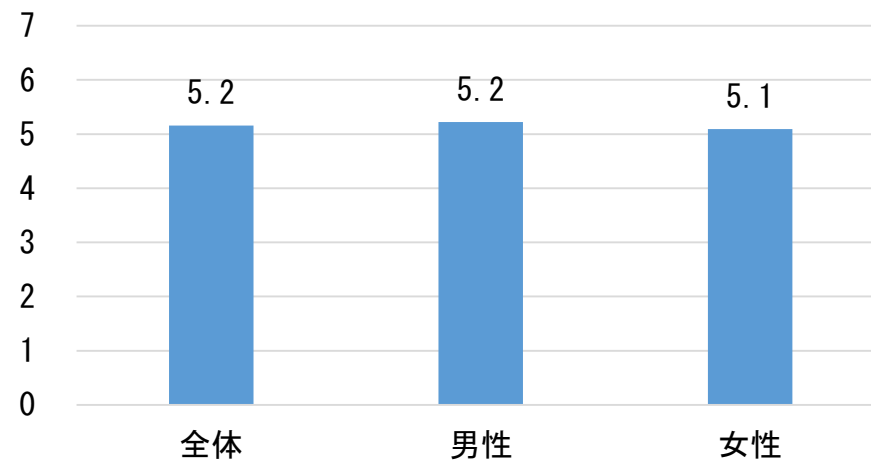
4. 【その他】生活全体の満足度（全員）

※ 「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点

【前回調査（2020年12月）】



【今回調査（2021年4-5月）】



調査方法・調査対象等

- 調査方法：インターネット調査
(国内居住のインターネットパネル登録モニター)
- 回収数：10,128
(うち第2回調査の回答者数：7,371)
- 調査期間：4月30日(金)～5月11日(火)

(参考) 第1回・第2回調査について
 第1回調査：5月25日(月)～6月5日(金)
 第2回調査：12月11日(金)～12月17日(木)
 ※調査方法、回収数(割当)は共通

- 回収数の割当(サンプル数の設計)
 - ・性別・年齢階級別(10歳毎)で同数を均等に割当(12区分×844人=10,128)
 ※年齢は「15～24歳」から「65～89歳」までの6区分×性別2区分=12区分
 - ・地域別7区分で人口比例で割当

○地域別回収数

	北海道・東北	東京	首都圏 (東京以外)	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
全体	1,152	1,104	2,400	1,776	1,632	912	1,152	10,128
うち継続	836	852	1,715	1,329	1,207	625	807	7,371

○回収数の内訳(主な属性別)

【就業者】6,788人 【子育て世帯】2,065人 ※子供が18歳未満 【学 生】740人

正規雇用	4,224
非正規雇用	1,747
会社などの役員	182
自営業(手伝いを含む)	509
内職・在宅ワーク	61
休業中	65
合計	6,788

10～20歳代	216
30歳代	812
40歳代	786
50歳代	231
60歳代以上	20
合計	2,065

高校生	83
大学生、大学院生	571
その他(専門学生等)	86
合計	740

※三大都市圏とは、東京圏、名古屋圏、大阪圏の1都2府8県。地方圏は、三大都市圏以外の北海道と35県。東京都23区は、東京圏の内数。
 (東京圏：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県 名古屋圏：愛知県、三重県、岐阜県 大阪圏：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県)